

Panasonic

フレームスイッチャー

取扱説明書

工事説明付き

品番 **WJ-FS516**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、フレームスイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は映像監視システム用のフレームスイッチャーです。カメラを最大16台まで接続でき、多画面・シーケンス・静止画・電子ズームなどの表示機能、アラーム連動やタイムラプスVTRの制御機能、さらにそれらをカスタマイズするセットアップ機能を備えています。

接続するカメラには、同期をかける必要はありません。

多画面分割表示

4分割から16分割まで、6パターンの多分割画面表示が可能です。

シーケンス表示

複数のカメラ映像を、あらかじめ設定した順番でシーケンス表示ができます。

1画面シーケンスは1種類、多画面シーケンスは2種類まで登録できます。

混在表示

カメラ/ビデオ再生画を混在させて表示することができます。(多画面出力4、7、10、13分割表示時)

電子ズーム

映像を2倍に拡大して見ることができます。(多画面出力の1画面表示時)

また拡大表示範囲を移動することができます。

ビデオへの録画

タイムラプスVTRを接続して、リアルタイムモードやタイムラプスモードで録画ができます。

また優先して録画するチャンネルを設定することができます。

アラーム連動

アラームの発生したチャンネルを優先して録画したり、モニタに表示することができます。

外部制御

接続工事により、離れた場所から並列操作が可能です。

設定内容の記憶

万一停電した場合でも、常温で72時間以内であれば日付/時刻、アラーム履歴、タイトル文字などの設定内容を記憶しています。

付属品をご確認ください

保証書	1	取付ねじ (M4 × 10)	4
取扱説明書 (本書)	1	コネクター (37ピン)	1
ラックマウント金具	2	スイッチプロテクター	1
ラック取付ねじ (M5 × 12)	4		

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
取り扱い上のお願ひ	6
各部の名前と働き	7
前面パネル	7
後面パネル	9

操作のしかた

カメラ映像を見る	10
1画面表示で見る場合	10
多画面表示で見る場合	12
シーケンス(自動切替)表示で見る場合	14
ビデオに録画する	15
ビデオ再生画を見る	16
1画面表示で見る場合	16
多画面表示で見る場合	17
カメラ映像とビデオ再生画を同時に見る	18
外部からの制御	19
時刻同期・シーケンス切替	19
パソコンによる制御	19
ビデオの制御	19
多画面出力2について	19
アラームについて	20
アラーム動作	20
アラーム発生時の録画動作	22
応用的な使いかた(多画面出力2の動作)	22
アラーム復帰のしかた	23
カメラ切替信号ロスについて	23

設定のしかた

メニュー画面について	24
セットアップメニュー画面の表示	25
アラームの設定	26
多画面出力の設定	32
スポット出力の設定	35
録画出力の設定	36
多画面出力2の設定	41
システムの設定	42
オールリセット	56

工事説明

ラックへの取り付けかた	57
接続のしかた	58
システム接続例	58
省線化システムの接続例	60
タイムラプスVTRとの接続例	61
アラームセンサーとの接続	62
外部制御のしかた	63
タリ-出力の使いかた	64
付属コネクタの組み立てかた	64
内部スイッチの設定	65

付録

故障と思われましたら	67
コマンド一覧	68
仕様	71
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグの 抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

禁止

⚠ 注意**通風孔・放熱ファンをふさがない**

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

禁止

落とさない、強い衝撃を与えない

けがや火災の原因となります。

禁止

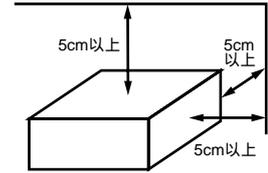
取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」と合わせて、以下のこともお守りください。

設置上のお願い

5 cm以上間隔をあけてください

機器の側面、後面、上面は、壁面から5 cm以上あけてください。



雑音源を避けてください

電灯線などに近づけてケーブルを引き回したりすると雑音が入る場合があります。そのときは、配線や位置を変えてください。

使用電源は

AC100 Vです。

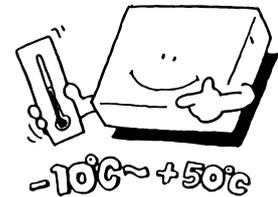
消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントから電源をとらないでください。



使用温度範囲は

-10度から +50度です。

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。



ビデオについて

接続されるビデオは長期の使用に耐えるように設計されていますが、日常点検を行い異常のないように使用されることをおすすめします。詳しくはビデオの説明書をご覧ください。

内蔵のタイマーについて

年月日時分秒を表示させる本機のタイマーは、動作環境によっては誤差が生じることがあります。確実な運用のために、ご使用前に時刻合わせをしてください。

内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するとき、48時間以上の連続通電を行い、電池を充電してください。
充電が不十分ですと停電保証時間(常温で72時間)が短くなります。
- 電池交換時および長時間停電したときは、設定内容が消えてしまいますので、内容を控えておくことをおすすめします。

アースについて

必ずアース端子から大地にアースをとってください。アースをしないと発振したり、故障の原因となることがあります。

放熱ファンについて

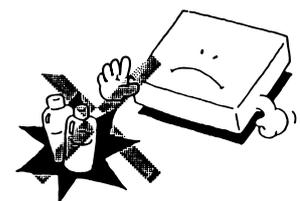
放熱ファンは消耗品です。約30,000時間を目安に交換してください。

お手入れについて

本機のお手入れは

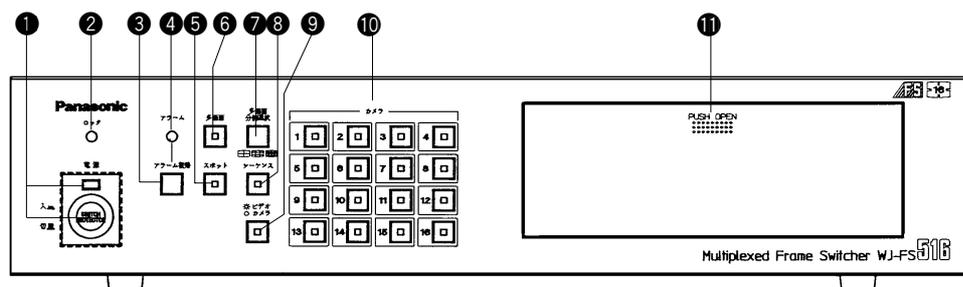
電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。



各部の名前と働き

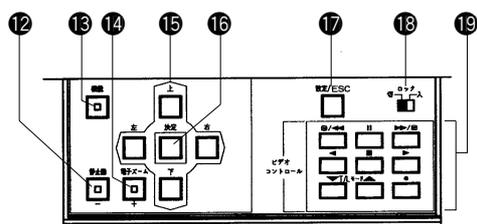
前面パネル



- ① 電源ボタン[電源 入 ■ 切 ■]
電源を入/切るボタンです。「入」でLEDが点灯します。
またファンの異常を検知すると、LEDが点滅します。そのようなときは、ただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。
電源スイッチの誤操作を防止するスイッチプロテクター（付属品）の取り扱いについては、57ページをご覧ください。
- ② ロック表示[ロック]
ロックスイッチ⑧が「入」のときに点灯します。
- ③ アラーム復帰ボタン[アラーム復帰]
アラーム動作を終え通常状態に復帰させるときに押します。
- ④ アラーム表示[アラーム]
アラーム動作中であることを知らせるためのLEDです。
アラーム動作中は点滅し、アラームが自動復帰すると点灯します。
アラーム動作が解除される（アラーム復帰ボタン③を押す）と消灯します。
- ⑤ スポットモニター選択ボタン[スポット]
見たい映像をスポットモニターへ出力するときに押します。
選択している場合はLEDが点灯します。
スポットモニターへは、カメラ入力1～16の中のひとつの映像のみが1画面表示されます。
- ⑥ 多画面モニター選択ボタン[多画面]
見たい映像を多画面モニターへ出力するときに押します。選択している場合はLEDが点灯します。
録画出力を多画面出力2として使用している場合は、押すごとに多画面出力と多画面出力2が切り換わります。（多画面出力2を選択している場合はLEDが点滅）
多画面出力2については、19ページをご覧ください。
- ⑦ 多画面分割選択ボタン[多画面分割選択]
多画面分割数を選択するボタンです。
カメラ映像を見ているときは、押すごとに4分割 7 9 10 13 16 4分割と切り換わります。
ビデオ再生画を見ているときは、4分割 9 16 4分割と切り換わります。
- ⑧ シーケンスボタン[シーケンス]
事前に設定したシーケンス動作を起動するためのボタンです。動作中はLEDが点灯します。
- ⑨ ビデオ/カメラボタン[ビデオ/カメラ]
多画面出力をビデオ再生画かカメラ映像（ライブ）かに切り換えるボタンです。
ビデオ再生画を選択するとLEDが点灯します。
- ⑩ カメラボタン[カメラ 1～カメラ 16]
16系統のカメラ映像入力またはビデオ再生画のチャンネルから1つを選択するボタンです。
- ⑪ 前面パネルドア
押すと開きます。内部に設定用のボタンがあります。（8ページ参照）

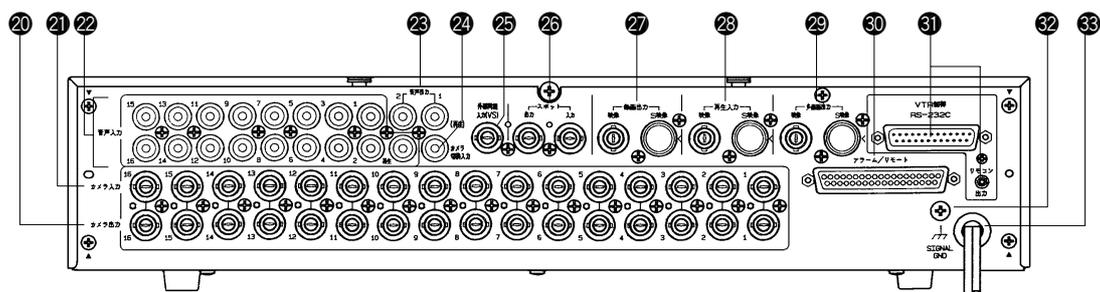
各部の名前と働き

前面パネルドア内部



- ⑫ 静止画ボタン[静止画、 -]
スチル(静止画)表示モードをON/OFFするボタンです。スチル表示モードのときLEDが点灯します。
またメニュー画面上では、設定値を変更するボタンとしても使用できます。
- ⑬ 機能ボタン[機能]
カメラ映像信号を多画面表示しているときに、ビデオ再生画を混在させるためのボタンです。
(18ページ参照)
また、セットアップメニューで、文字マップやページを切り換えるときに使用します。
- ⑭ 電子ズームボタン[電子ズーム、 +]
多画面モニターへの出力で1画表示(スポット・シーケンス)のとき、表示中の映像を拡大表示するボタンです。電子ズーム表示時にLEDが点灯します。
またメニュー画面上では、設定値を変更するボタンとしても使用できます。
- ⑮ カーソルボタン[上、下、左、右]
設定画面でカーソルを移動するときに押します。電子ズーム表示時は、ズームの範囲を移動します。
[上]: 上移動ボタンです。
[下]: 下移動ボタンです。
[左]: 左移動ボタンです。設定値を変更するボタンとしても使用します。
[右]: 右移動ボタンです。設定値を変更するボタンとしても使用します。
- ⑯ 決定ボタン[決定]
セットアップモードで、下層のメニューに移動します。
- ⑰ 設定ボタン[設定/ESC]
本体セットアップモードを起動/終了するボタンです。
セットアップ中は、設定値を確定し、上層のメニューに移動するときに使用します。
- ⑱ ロックスイッチ[ロック 切/入]
「入」にすると電源ボタン以外のすべてのボタンが働かなくなります。
(設定により、ビデオコントロールボタン⑲のみに限定することもできます。)
- ⑲ ビデオコントロールボタン[⏮/⏪、⏸、⏩/⏭、◀、■、▶、▼、▲、●]
VTR(松下製)を接続することにより、本機からVTRをリモート操作できます。
リモート操作が可能な松下製タイムラプスVTRについては、「ビデオの制御(19ページ)」をご覧ください。
接続のしかたは、61ページをご覧ください。
[⏮/⏪]: 巻き戻し
[⏸]: 一時停止
[⏩/⏭]: 早送り
[◀]: 逆再生
[■]: 停止
[▶]: 再生
[▼]: タイムラプスVTRの録画・再生時間モードの変更(録画時間が短くなる・再生が速くなる)
[▲]: タイムラプスVTRの録画・再生時間モードの変更(録画時間が長くなる・再生が遅くなる)
[●]: 録画

後面パネル



- ②⑩ カメラ映像出力端子[カメラ出力1～16]
カメラ入力信号のループスルー出力です。
- ②⑪ カメラ映像入力端子[カメラ入力1～16]
カメラからの映像信号を入力する端子です。
本機では、VTRに録画する際に垂直ブランキング期間にコードを付加しています。このため、垂直ブランキング期間に何らかのコードが付いた映像信号は入力できません。
- ②⑫ 音声入力端子[音声入力1～16、再生]
音声を入力する端子です。VTRから音声を入力する場合は、[再生]端子に接続してください。
- ②⑬ 音声出力端子[音声出力1(再生)、2]
音声出力1：監視用出力です。音声入力1～16および再生端子からの信号を出力します。
音声出力2：録画用出力です。(音声入力 再生端子からの信号を出力することはできません。)
- ②⑭ カメラ切換信号入力端子[カメラ切換入力]
タイムラプスVTRからのカメラ切換信号を入力する端子です。
- ②⑮ 映像同期信号入力端子[外部同期入力(VS)]
外部機器からの映像同期信号の入力端子です。
- ②⑯ スポット端子[スポット 入力、出力]
入力：外部機器からの映像信号を入力する予備端子です。
この端子に入力された映像を見るには、パソコンによる外部制御が必要です。
映像は[スポット 出力]端子に出力されます。(多画面出力、録画出力には出力されません。)
出力：スポットモニターへ映像信号を出力する端子です。
- ②⑰ 録画出力端子[録画出力 映像、S映像]
タイムラプスVTRへの映像信号を出力する端子です。
設定により、モニター出力(多画面出力2)としても使用することができます。(41ページ参照)
- ②⑱ 再生入力端子[再生入力 映像、S映像]
タイムラプスVTRからの映像信号を入力する端子です。設定により映像、S映像のどちらか一方を使用します。(54ページ参照)
VTRには、ブランキング期間に何らかのコードを付加する機種があります。この場合、カメラ番号と重なり正しく動作しなくなる恐れがありますので、VTR側の設定によりコード挿入位置を変更するか、コード挿入をOFFにしてください。
- ②⑲ 多画面出力端子[多画面出力 映像、S映像]
多画面モニターへの映像信号を出力する端子です。
- ③⑩ アラーム/リモート制御端子[アラーム/リモート](37ピンコネクタ)
外部アラームを入力したり、本機をリモート制御するための信号を入出力する端子です。
- ③⑪ VTR制御端子[VTR制御 RS-232C(D-SUB25ピン)、リモコン出力(ミニジャック)]
VTRを制御する信号を出力します。RS-232Cを使うかリモコン出力を使うかは、セットアップメニューで設定します。またRS-232C端子にパソコンを接続して、本機をリモート制御することができます。
- ③⑫ アース端子[SIGNAL GND]
- ③⑬ 電源コード
AC100V(50/60Hz)に接続します。

カメラ映像を見る

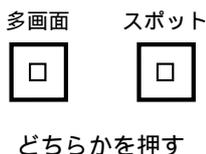
1画面表示で見える場合

基本操作(スポット表示)



カメラの映像

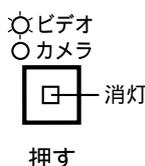
1



どちらかを押す

[多画面]ボタンまたは[スポット]ボタンを押し、見たい映像を出力するモニターを選びます。押したボタンのLEDが点灯します。

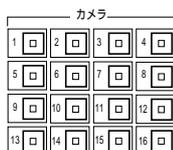
2



押す

[ビデオ/カメラ]ボタンを押し、「カメラ」状態を選びます。(LED消灯)

3



押す

[カメラ]ボタン(1~16)のどれかひとつを押します。そのボタンのLEDが点灯し、対応するカメラ映像が1画面表示されます。

映像を静止して見る(スチル表示)

- ・スポットモニターへの出力ではスチル表示できません。
- ・ビデオ再生画の場合も同じ操作を行います。



通常の映像(スポット表示)

1



押す

[静止画]ボタンを押します。映像が静止(スチル)し、モニター上に「STILL」の文字が点滅表示されます。

2



押す

通常の映像に戻すときは、再度[静止画]ボタンを押します。



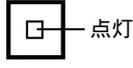
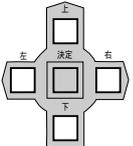
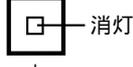
スチル表示

メモ

- ・静止画表示されている映像の[カメラ]ボタンLEDは、点滅表示になります。
- ・静止画表示中は、[カメラ]ボタンを押しても映像は切り換わりません。
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、タイトルと「STILL」の文字が交互に点滅します。
タイトル表示のON/OFF設定は、32ページをご覧ください。
- ・シーケンス表示中は、スチル表示できません。
- ・ビデオ再生画を静止(スチル表示)させた場合、画面は静止画状態でもビデオ

映像を拡大して見る(電子ズーム)

- ・スポットモニターへの出力では電子ズームはできません。
- ・ビデオ再生画の場合も同じ操作を行います。

 <p>3 イリグチ</p>	<p>1</p> <p>電子ズーム</p>  <p>点灯</p> <p>+</p> <p>押す</p>	<p>[電子ズーム]ボタンを押します。 映像が2倍に拡大表示されます。</p>
<p>通常の映像(スポット表示)</p> <p>↓</p>  <p>3 イリグチ</p>	<p>2</p>  <p>押す</p>	<p>表示している映像の位置を変えるときは、 [上,下,左,右]ボタンを押します。</p>
<p>拡大した映像</p> <p>↓</p>  <p>3 イリグチ</p>	<p>3</p> <p>電子ズーム</p>  <p>消灯</p> <p>+</p> <p>押す</p>	<p>通常の映像に戻すときは、再度[電子ズーム] ボタンを押します。</p>

メモ

多画面表示(12ページ参照)しているときは、電子ズーム機能は働きません。

ノンインターレースの映像信号について

ノンインターレースの映像信号入力時は、多画面出力、録画出力で画像が乱れることがあります。このような映像(WJ-SX550、SX-550Aのメニュー画面など)は、スポット出力で確認してください。

カメラ映像を見る

多画面表示で見える場合

スポットモニターへの出力では、多画面表示できません。

基本操作(スポット表示)

1	2
3	4

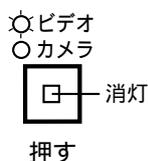
1



[多画面]ボタンを押し、多画面モニターを選択します。
(または多画面モニター2。LED点滅)

1	2	
3	4	5
	6	7

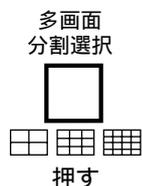
2



[ビデオ/カメラ]ボタンを押し、「カメラ」状態を選びます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

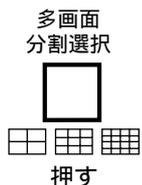
3



[多画面分割選択]ボタンを1回押します。
多画面分割された映像が表示されます。

1	2		
3	4	5	6
7	8	9	10

4



画面の分割数を変えるときは、続けて[多画面分割選択]ボタンを押します。
押すたびに4分割 7 9 10 13 16 4分割と切り換わります。

1	2	3	
	4	5	
6	7	8	9
10	11	12	13

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

メモ

- ・カメラが接続されていないチャンネルは、黒画面表示となります。
- ・多画面表示中に[カメラ]ボタン(1~16)を押すと、選んだカメラの映像が1画面表示されます。
- ・各チャンネルの分割画面上の表示位置を設定することができます。
(34ページ参照)
- ・7、10、13画面表示の中の4分割サイズの映像は、4画面表示に比べ解像度が低下することがあります。
- ・9画面表示では、斜めの線が少しギザギザに見えたり、縦にゆれることが

任意の映像を静止して見る(スチル表示)

ビデオ再生画の場合も同じ操作を行います。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

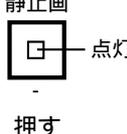
通常の映像(スポット表示)

STILL	2	STILL	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

カメラ1,3をスチル表示した場合

1

静止画



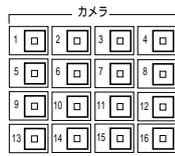
点灯

[静止画]ボタンを押します。

押す

2

カメラ



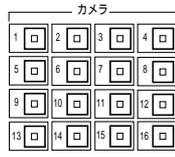
カメラ

静止させたい映像の[カメラ]ボタン(1~16)を押すと、静止画が表示されます。複数選ぶことができます。

押す(LED点滅)

3

カメラ



カメラ

LEDが点滅している[カメラ]ボタン(1~16)を押すと、その映像は静止画から通常の映像に戻ります。

押す

4

静止画



消灯

全ての静止画を通常の多画面表示に戻すときは、再度[静止画]ボタンを押します。

押す

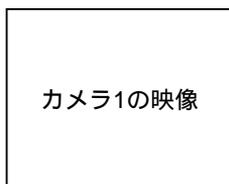
メモ

- ・手順2では、表示されていないチャンネル(LEDが消灯しているボタン)は選択できません。
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、タイトルと「STILL」の文字が交互に点滅します。
タイトル表示のON/OFF設定は、32ページをご覧ください。
- ・シーケンス表示中は、スチル表示できません。
- ・ビデオ再生画を静止(スチル表示)させた場合、画面は静止画状態でもビデオのテープ走行は停止していません。
- ・スチル表示した場合、スチル表示していない映像と比べて、解像度が低

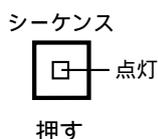
カメラ映像を見る

シーケンス(自動切換)表示で見る

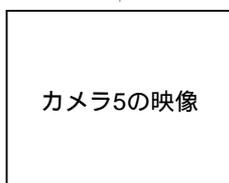
- ・シーケンス設定(46ページ参照)で設定した順番に、カメラ映像を自動的に切り換えて表示します。
- ・シーケンスパターンは、1画面シーケンス(最大で1画面×32ステップ)を1種類、多画面シーケンス(最大で多画面×5ステップ)を2種類登録できます。
- ・多画面モニターへの出力では、どのシーケンスパターンでも選択できます。(34ページ参照)
- ・スポットモニターへの出力では、1画面シーケンスのみ選択できます。
- ・ビデオ再生画の場合も同じ操作をします。



1



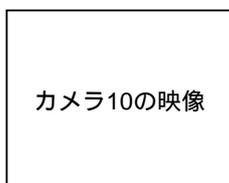
[シーケンス]ボタンを押します。
設定された順番で、カメラ映像がシーケンス表示されます。



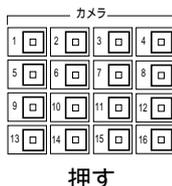
2



シーケンス表示中に[シーケンス]ボタンを押すと、強制的に次のステップの映像に切り換わります。(シーケンス表示は続行されます。)

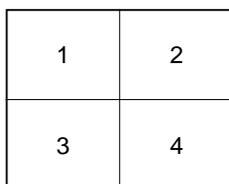


3



1画面スポット表示に戻るときは、[カメラ]ボタン(1~16)を押します。

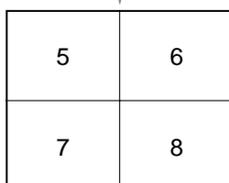
1画面シーケンス動作例



4



多画面スポット表示に戻るときは、[多画面分割選択]ボタンを押します。



多画面シーケンス動作例

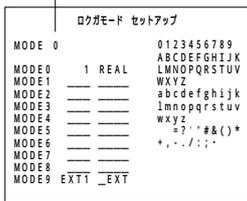
メモ

- ・シーケンス動作中は、対応する映像の[カメラ]ボタンLEDが点灯します。
- ・カメラ入力のない画面は、黒画面となります。ただしAUTO SKIPの設定(46ページ参照)が「ON」の場合は、以下のように動作します。
 - 1画面シーケンス : カメラ入力のない画面をスキップします。
 - 多画面シーケンス : 表示される分割画面のすべてにカメラ入力がない場合は、その分割画面をスキップします。
- ・多画面シーケンスでは同一ステップ内で複数のエリアに同じチャンネルのビデオ再生画を表示することはできません。複数のエリアに同じチャンネルが設定されている場合は、エリアNO.の小さい方に表示されます。
- ・スチル表示中は、シーケンス表示できません。
- ・スポットモニターや多画面出力2でビデオ再生画のステップを含むシーケンス(1画面および多画面)を起動した場合、ビデオ再生画は黒画面表示となります。
- ・スポットモニター上の1画面シーケンスで、ビデオ再生画のステップがある場合、ビデオ再生画のステップからカメラ映像のステップに切り換わ

ビデオに録画する

本機の録画モードには、リアルタイム(MODE 0)とタイムラプス(MODE 1~9)の2種類があります。

録画モード



録画モード設定画面

1

録画モードを確認します。
設定内容を変更する場合は、38ページをご覧ください。

2



ビデオの録画ボタンを押す

ビデオを録画状態にします。
これでビデオの録画が始まります。

メモ

- ・ビデオ側のメニュー画面を表示させるときは、録画モードを「MODE 0」に設定してください。
- ・ビデオの録画時間をリニアモード(L12H,L18H,L24H)にして録画するときには、タイムラプスモード(MODE 1~9)で録画してください。
- ・カメラ切替信号を使用するビデオの場合、映像記録間隔がタイムラプスモードで0.11秒以上(9フィールド/秒以下)のときは、4分割画面録画を選択することができます。
- ・カメラ切替信号を使用しないビデオの場合、4分割画面録画はできません。また、映像記録間隔がタイムラプスモードで0.05秒以下(20フィールド/秒以上)のときは、切替タイミングを4フィールドに設定した録画モードを選択してください。ただし、同じ映像が重複して録画されることがあります。

ビデオ側の設定について

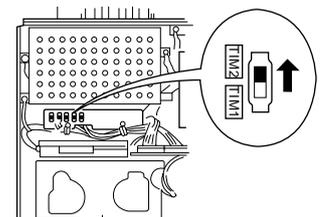
ビデオ側の設定例を以下に示します。(詳細は、ビデオの取扱説明書をご覧ください。)

[AG-6730、6740、6760の場合]

- ・メニュー画面3
[TIME ADJUSTING] SET TIME 9:00
 OPERATION MASTER
- ・メニュー画面4
[RESET PULSE] INPUT LEVEL HIGH
[CAMERA SW] TIMING 1FIELD
 MODE TM2
- ・メニュー画面11 (AG-6740の場合は、メニュー画面8)
[TIME CODE] POSITION 11H,13Hまたは12H,14H

[AG-6720A、6750Aをタイムラプスモードで使用する場合]

右図のスイッチ(SW4)を「TIM2」側に切り換えてください。
(出荷時はこのようになっています。)



ビデオ再生画を見る

- ・ビデオ再生画は、スポット出力、多画面出力2には表示されません。
- ・カメラ映像の録画を同時に行うのであれば、本機にビデオを2台(録画用と再生用)接続する必要があります。

1画面表示で見える場合

スチル表示(10ページ参照)、電子ズーム(11ページ参照)、シーケンス表示(14ページ参照)の各操作は、カメラ映像の場合と同じです。それぞれのページをご覧ください。



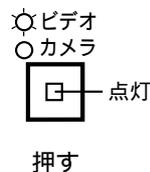
ビデオの再生映像

1



[多画面]ボタンを押し、多画面モニターを選びます。

2



[ビデオ/カメラ]ボタンを押し、「ビデオ」状態を選びます。

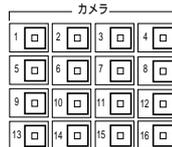
3



ビデオを再生状態にします。

ビデオの再生ボタンを押す

4



[カメラ]ボタン(1~16)を押します。
押したボタンに対応した再生映像が表示されます。

メモ 多画面表示の場合も同様です。

- ・再生入力端子に信号が入力されていない場合や、記録時に付加したコードが読みとれないためビデオの出力映像がそのままモニターに表示されている場合は、[ビデオ/カメラ]ボタンが点滅します。
- ・ビデオを逆再生したときは、本機では正常に再生できません。
- ・ビデオ側の再生モードにより、各再生画面の上部で水平方向に映像が引かれる(スキュー)場合があります。
- ・フィールド記録のため、再生のとき映像またはタイトルが上下に揺れることがあります。
- ・ビデオのヘッドの状態などにより、ときどき別チャンネルの映像が見えることがあります。頻繁に発生するときは、ビデオ側のトラッキングおよびスロートラッキングを調整すると軽減されます。
- ・4分割画面録画したテープの再生時は、手順4で選択されたチャンネルを含む4分割画面が表示されます。
- ・ビデオの早送り/巻き戻し再生をした場合は、ビデオの出力映像がそのままモニターに表示されることがあります。
- ・録画時のモードにかかわらず、ビデオの再生時のモードがリニアモード再生(L12H,L18H,L24H)のときは、画面にノイズが入ったり、他のチャンネルの映像が入ることがありますので、ビデオ側の再生はリアルタイムモードやタイムラプスモードにしてください。

WJ-FS10, FS10Aを使用して録画したテープを再生する場合

本機を使用して録画したテープとは互換性がないため、再生モードの設定（ 52ページ参照）を「FS10」にする必要があります。また再生はできますが、録画時と再生時の映像表示チャンネルが異なるため、16画面表示で再生してから見たい映像を選択することをおすすめします。（ 下記参照）

多画面表示で見える場合

スチル表示（ 13ページ参照）、シーケンス表示（ 14ページ参照）の各操作は、カメラ映像の場合と同じです。それぞれのページをご覧ください。

1	2
3	4

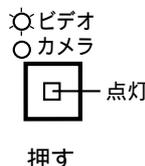
1



[多画面]ボタンを押し、多画面モニターを選びます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

2



[ビデオ/カメラ]ボタンを押し、「ビデオ」状態を選びます。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

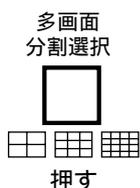
3



ビデオの再生ボタンを押し

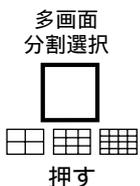
ビデオを再生状態にします。

4



[多画面分割選択]ボタンを1回押します。
多画面分割された映像が表示されます。

5



画面の分割数を変えるときは、続けて[多画面分割選択]ボタンを押します。
押すたびに4分割 9 16 4分割と切り換わります。

メモ

- ・[カメラ]ボタンを押すと、選んだチャンネルの再生画が1画面表示されます。
- ・多画面分割再生のときは画面を縮小しているため、テープに記録されているタイトルなどが読みにくくなります。このようなときは1画面で再生してください。
- ・ビデオ再生画を見る場合、複数のエリアに同じチャンネルの再生画を表示することはできません。複数のエリアに同じチャンネルが設定されている場合は、エリアNO.の小さい方に表示されます。
- ・4分割画面録画したテープの再生画を多画面表示することはできません。

カメラ映像とビデオ再生画を同時に見る

- ・カメラ映像を多画面(4,7,10,13分割)表示しているときに、分割画面左上のカメラ映像に変えて、ビデオ再生画を表示することができます。(9,16分割画面ではできません)
ただし、この機能はVTRビデオインの設定(54ページ参照)によらず、再生入力「映像」端子に入力されている映像を表示します。再生入力が「S映像」をお使いの場合は、「映像」端子にも接続してください。
- ・スポット出力、多画面出力2には表示できません。
- ・カメラ映像の録画を同時に行うのであれば、本機にビデオを2台(録画用と再生用)接続する必要があります。

<table border="1"> <tr> <td>カメラ1 の映像</td> <td>カメラ2 の映像</td> </tr> <tr> <td>カメラ3 の映像</td> <td>カメラ4 の映像</td> </tr> </table>	カメラ1 の映像	カメラ2 の映像	カメラ3 の映像	カメラ4 の映像	<p>1</p> <p>多画面 点灯 押す</p> <p>[多画面]ボタンを押し、多画面モニターを選びます。</p>
カメラ1 の映像	カメラ2 の映像				
カメラ3 の映像	カメラ4 の映像				
<p>通常の映像(スポット表示)</p>					
<table border="1"> <tr> <td>ビデオの 再生画</td> <td>カメラ2 の映像</td> </tr> <tr> <td>カメラ3 の映像</td> <td>カメラ4 の映像</td> </tr> </table>	ビデオの 再生画	カメラ2 の映像	カメラ3 の映像	カメラ4 の映像	<p>2</p> <p>ビデオ カメラ 消灯 押す</p> <p>[ビデオ/カメラ]ボタンを押し、「カメラ」状態を選びます。</p>
ビデオの 再生画	カメラ2 の映像				
カメラ3 の映像	カメラ4 の映像				
<p>カメラ映像とビデオ再生画を混在表示した場合</p>					
<p>3</p> <p>多画面 分割選択 押す</p> <p>[多画面分割選択]ボタンを押し、カメラ映像を4,7,10,13分割画面のいずれかにします。</p>					
<p>4</p> <p>機能 点滅 押す</p> <p>[機能]ボタンを押します。 混在表示チャンネルの入力待ち状態になります。再度押すと、入力待ちを解除します。</p>					
<p>5</p> <p>カメラ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 押す</p> <p>ビデオ再生画の中で、見たい映像に対応する[カメラ]ボタン(1~16)を押します。 左上の画面にビデオ再生画が表示され、[機能]ボタンのLEDが点灯に変わります。</p>					
<p>6</p> <p>ビデオ カメラ 点灯 押す</p> <p>ビデオ再生画を切り換えるときは、手順4,5の操作を繰り返します。 ビデオ再生画の1画面表示に切り換えるときは、[ビデオ/カメラ]ボタンを押します。</p>					
<p>7</p> <p>多画面 分割選択 押す</p> <p>カメラ映像に戻すときは、[多画面分割選択]ボタンを押します。</p>					

メモ

- ・混在表示しているときは、シーケンス表示できません。
- ・ビデオ再生画はスチル表示できません。

外部からの制御

時刻同期・シーケンス切り換え

システム設定の「キリカエタンシ(タガメンおよびスポット)」の設定(50ページ参照)により、アラーム/リモート制御端子(26番、6番ピン)に入力される信号を用いて、外部から以下のような制御ができます。

[時刻同期入力端子(アラーム/リモート制御端子26番ピン)]

時刻同期(時刻をあわせる)または多画面出力のシーケンス切換を行います。

時刻同期の場合は、外部からの信号が、本機の時計が8時、9時、10時など各時刻の±3分以内に入力されたときのみ、時刻をあわせませす。

[スポットモニタカメラ切換入力端子(アラーム/リモート制御端子6番ピン)]

スポット出力のシーケンス切換を行います。

パソコンによる制御

- ・ VTR制御端子(RS-232C D-SUB25ピン)にパソコンを接続することにより、パソコンから本機をリモート制御することができます。
接続のしかたは、59ページをご覧ください。
通信設定、コマンド一覧は、68、69、70ページをご覧ください。
- ・ パソコンによる制御をしているときに限り、外部機器からスポット入力端子に入力された映像をスポットモニターに出力することができます。

ビデオの制御

本機後面のVTR制御端子とVTR(松下製)を接続することにより、前面パネルドア内のビデオコントロールボタンからビデオを操作することができます。(接続のしかたは、61ページを参照)

リモコン操作が可能な松下製タイムラプスVTRは以下のとおりです。(1997年7月現在)

- ・ AG-6760、AG-6740、AG-6730、AG-6124、AG-RT600
- ・ AG-6760、AG-6740、AG-6730は、VTR制御端子のRS-232Cからのみ制御できます。
ただし、AG-6740とAG-6730には別売のRS-232C I/Fアダプターが必要となります。詳しくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をご覧ください。
- ・ AG-6124、AG-RT600は、リモコン出力(ミニジャック)からのみ制御できます。ただし、逆再生および時間モードの変更は操作できません。

多画面出力2について

本機後面の録画出力端子からは、タイムラプスVTRへ録画するための映像信号が出力されていますが、設定(41ページ参照)により2台目の多画面モニター用映像出力端子として使用することができます。

これを多画面出力2と呼びます。動作は以下のとおりです。

- ・ 多画面出力2を操作するときは、[多画面]ボタンを押して、LEDが点滅するようにします。
- ・ タイムラプスVTRへの録画はできなくなります。
- ・ 多画面出力2では、ビデオ再生画は表示できません。
- ・ セットアップメニュー画面は表示されません。(セットアップ中は黒画面になります。)

アラームについて

本機で扱うアラームには、次の3種類があります。アラームの設定については、26ページをご覧ください。

- ①本機後面のアラーム/リモート制御端子に入力されるアラーム。(画面上に「ALARM」と表示)
- ②カメラ映像が途切れたことを検知したときに発生するアラーム。
(画面上に「CH* LOSS」と表示。*部には、チャンネル番号が表示されます。)
- ③パソコンからのアラーム入力(画面上に「ALARM」と表示。OAIコマンド 69ページ参照)

アラーム動作

アラーム動作の設定(28ページ参照)が「ON」の場合、アラームが発生すると以下のような動作をします。

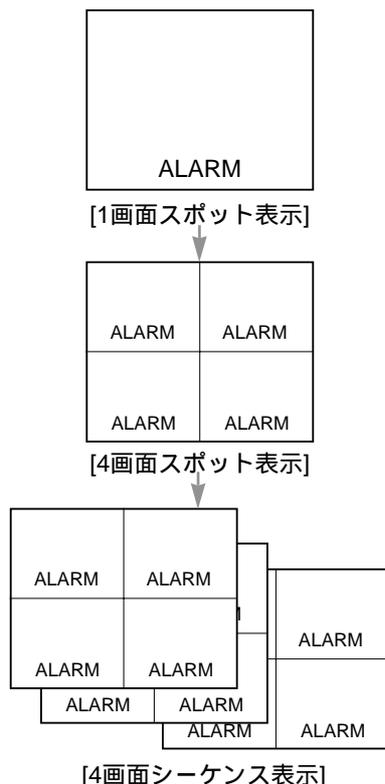
WJ-FS516本体の動作

- ①前面パネルのLED表示およびアラーム信号の出力
 - ・アラームが発生すると、アラームが発生したチャンネルに対応した[カメラ]ボタン(1~16)とアラーム表示LED(赤色)が点滅します。また、発生してからあらかじめ設定した時間(29ページ参照)だけ、アラーム信号が出力されます。(アラーム/リモート制御端子9番ピンから)
 - ・アラーム信号出力中に新たなアラームが発生した場合は、最新のアラーム発生から設定された時間だけアラーム信号を出力します。
- ②アラームブザー
アラームブザーの設定(29ページ参照)で設定した時間だけブザーが鳴ります。ただし、アラーム復帰した場合は、設定時間より短くても止まります。
- ③アラーム履歴の記録
アラームが発生すると、アラームの履歴を記録します。履歴は最大100件まで記録でき、それ以上は古い履歴から上書きされていきます。(常に最新の100件のみ)
アラーム履歴の表示については、27ページをご覧ください。

多画面モニター上の動作(多画面出力)

多画面モニターの動作設定(30ページ参照)により、次に示す2種類のどちらかの動作をします。

- ①アラーム連動動作(ALM-LINK)

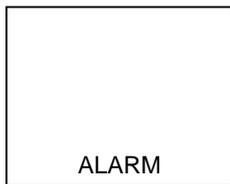


- ・アラームが発生すると、アラームの発生したカメラ映像を1画面スポット表示します。あわせて画面上には、警告表示(「ALARM」または「CH* LOSS」)を点滅表示します。
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、警告表示と交互に点滅表示します。
- ・2個以上のアラームが発生した場合は、4分割画面表示で左上、右上、左下、右下の順番に順次表示されます。
- ・4画面すべてが埋まり、5個目のアラームが発生した場合は、現在の4分割画面の左上から順番に上書き表示し、上書き前の4分割画面と順次4画面シーケンス表示します。
- ・アラーム復帰すると、警告表示が消え通常の状態に戻ります。

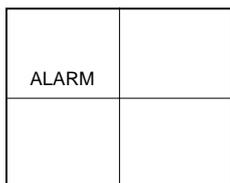
メモ

4画面シーケンス表示のとき、画面の切り換わる途中の映像が

②アラームインジケート動作(ALM-IND)



[1画面(スポット、シーケンス)表示]



[多画面(スポット、シーケンス)表示]

- ・アラームが発生すると、アラームの発生したカメラ映像に警告表示(「ALARM」または「CH* LOSS」)を点滅表示します。ただし、機器の動作はアラーム発生前と変わらず、設定どおりのスポットまたはシーケンス表示を続けます。(スチル表示は解除されます。)
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、警告表示と交互に点滅表示します。
- ・アラーム復帰すると、警告表示が消え通常の状態に戻ります。

スポットモニター上の動作(スポット出力)

スポットモニターの動作設定(30ページ参照)により、次に示す2種類のどちらかの動作をします。

①アラームスポットモード(ALM-SPOT)



[1画面スポット表示]

- ・アラームが発生すると、アラームの発生したカメラ映像を1画面表示します。あわせて警告表示(「ALARM」または「CH* LOSS」)を点滅表示します。
- ・別のチャンネルのアラームが発生すると、そのチャンネルの1画面表示に切り換わります。
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、警告表示と交互に点滅表示します。
- ・アラーム復帰すると、警告表示が消え通常の状態に戻ります。

メモ

アラーム動作中でも、[カメラ]ボタン(1～16)や[シーケンス]ボ

②アラーム無視モード(ALM-IGNORE)



[1画面(スポット、シーケンス)表示]

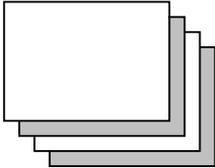
- ・アラームが発生すると、アラームの発生したカメラ映像に警告表示(「ALARM」または「CH* LOSS」)を点滅表示します。ただし、機器の動作はアラーム発生前と変わらず、設定どおりのスポットまたはシーケンス表示を続けます。
- ・カメラタイトルが表示されている場合は、警告表示と交互に点滅表示します。
- ・アラーム復帰すると、警告表示が消え通常の状態に戻ります。

アラームについて

アラーム発生時の録画動作

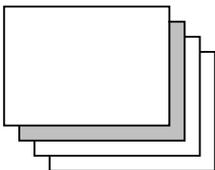
アラーム発生時は、アラーム動作時の録画モードの設定(31ページ参照)で設定した内容に録画モードが切り換わります。また、優先録画の設定(31ページ参照)により、次に示す2種類のどちらかの動作をします。

①優先録画の設定が「ON」の場合 ( : アラームが発生したカメラ映像を表す)



- ・録画している通常の映像に、アラームの発生したカメラ映像を繰り返し差し込んで優先的に録画します。

②優先録画の設定が「OFF」の場合 ( : アラームが発生したカメラ映像を表す)

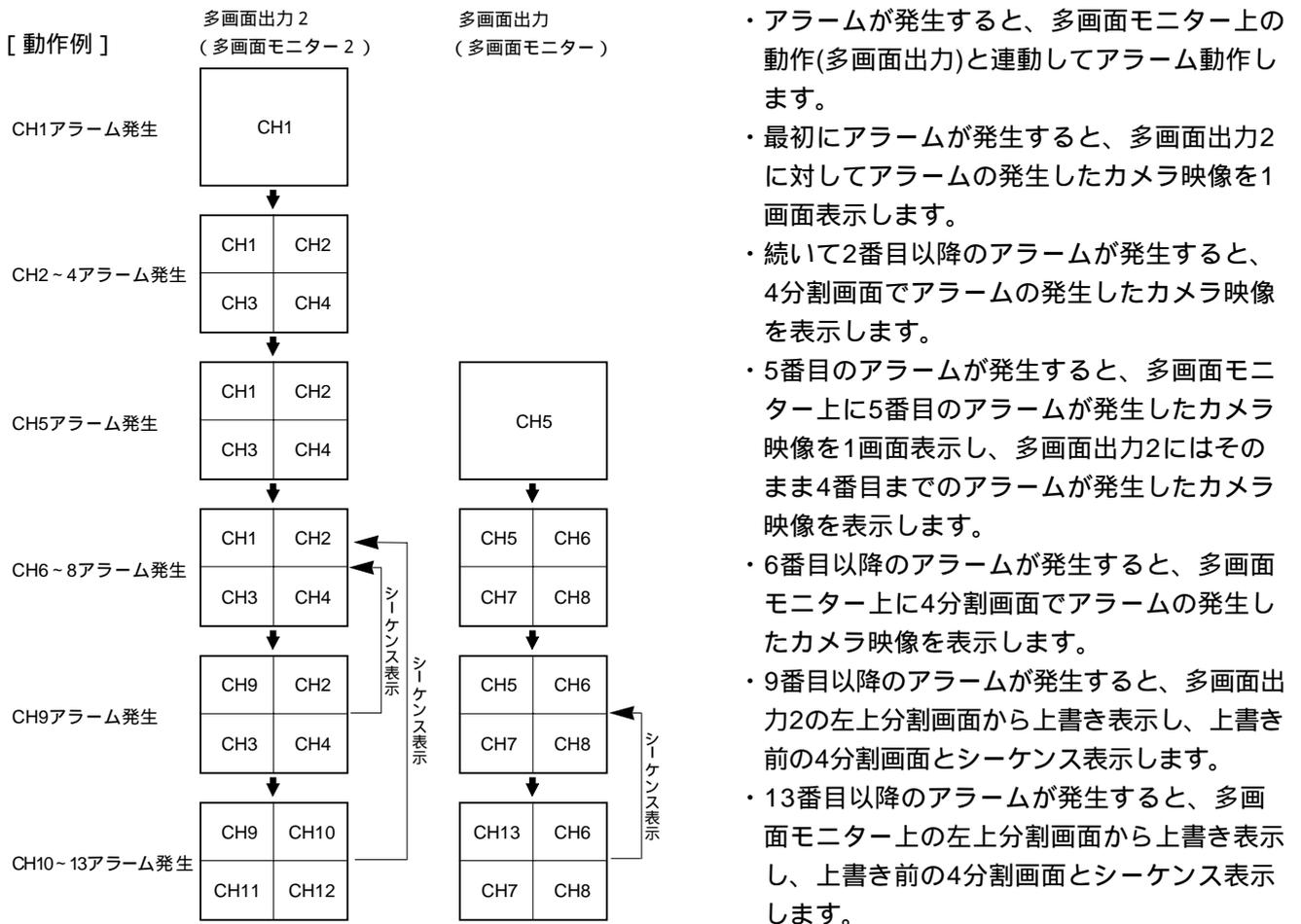


- ・通常の順序で録画されます。

応用的な使いかた(多画面出力2の動作)

設定により、録画出力端子をモニター出力(多画面出力2)として使用する場合は、アラーム発生時以下のような動作をします。(多画面モニターの動作設定がアラーム連動動作(ALRM-LINK)の場合)

多画面出力2の設定については、41ページをご覧ください



アラーム復歸のしかた

アラーム復歸には、以下に示す4種類があります。いずれの場合も、アラーム復歸出力信号が出力されます。(本機後面アラーム/リモート制御端子の27番ピンより)

①手動による強制的な復歸

[アラーム復歸]ボタンを押します。本機のアラーム動作が強制終了され、アラーム表示LEDが点滅から消灯に変わります。

②自動復歸

アラーム動作時間が設定したアラーム出力時間を越えると、自動的に復歸します。また映像信号ロスアラーム時、信号復歸を検出した場合も自動復歸します。

このときアラーム表示LEDは、点滅から点灯に変わります。点灯しているアラーム表示LEDを消灯するには、[アラーム復歸]ボタンを押します。

③外部機器からの信号による復歸

アラーム復歸入力端子(本機後面アラーム/リモート制御端子の8番ピン)に外部機器からのアラーム復歸信号が入力されると復歸します。このときアラーム表示LEDは、点滅から消灯に変わります。

④パソコンからのコマンドによる復歸

パソコンにより本機を制御している場合は、OALコマンド(69ページ参照)で①または②と同様に復歸します。

カメラ切換信号ロスについて



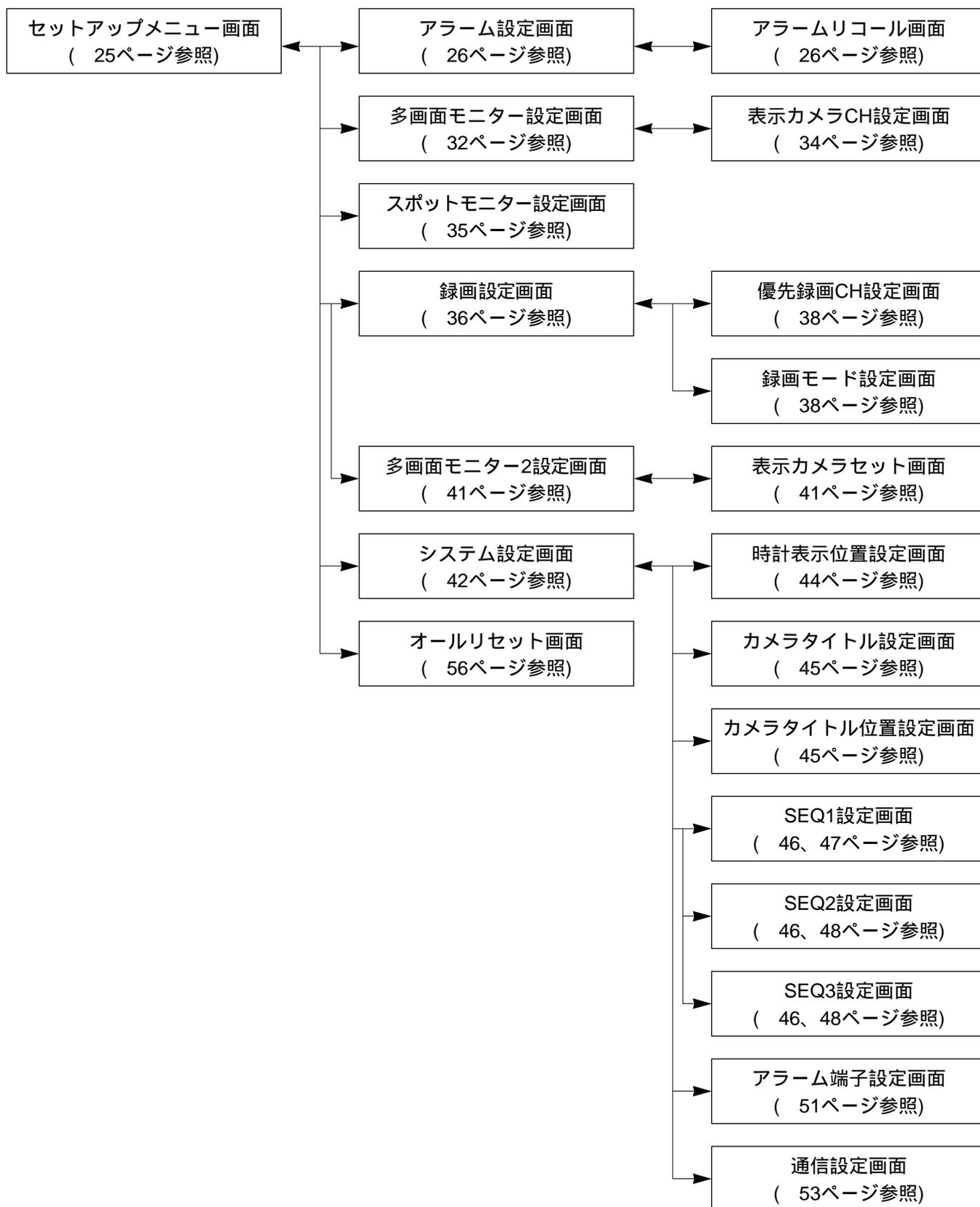
- ・カメラ切換信号が途切れたことを検知した場合、画面上に「SW LOSS」という文字が点滅表示されます。
- ・ブザーは鳴りません。
- ・カメラ切換信号の復歸を検知すると、「SW LOSS」の表示は消えます。

メモ

- ・録画モードの設定(38ページ参照)をMODE 0~8のいずれかにした場合および録画出力端子の設定(36ページ参照)を「タグメン2」に設定した場合は、カメラ切換信号ロスを検知しません。
- ・アラーム(「ALARM」または「CH* LOSS」表示)が発生すると、「SW LOSS」の表示はされなくなります。
(アラーム動作優先)

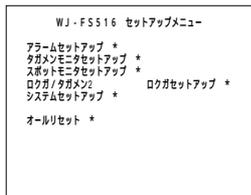
メニュー画面について

設定を行う場合は、各メニュー画面を呼び出して行います。メニュー画面の構成は以下のとおりです。



セットアップメニュー画面の表示

各種機能の設定を行うときは、必ずセットアップメニュー画面を表示してから行います。
ここでは、セットアップメニュー画面の表示方法と、メニュー画面上での基本操作について説明します。
また各種機能の設定方法は、この画面を呼び出したところから説明しています。



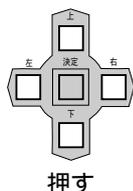
セットアップメニュー画面

1



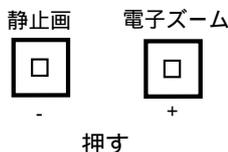
[設定/ESC]ボタンを約2秒間押します。
多画面モニターとスポットモニターにセットアップメニュー画面が表示されます。

2



[上,下,左,右]ボタンでカーソル(点滅表示)を移動します。また[左,右]ボタンは、項目の設定内容を変更するときにも使用します。

3



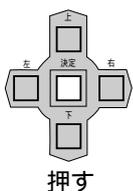
設定画面によっては、設定内容の変更を[静止画]および[電子ズーム]ボタンで行うものもあります。

4



[設定/ESC]ボタンを押すと、変更した設定内容が確定します。また、設定画面が上の階層に戻ります。

5



メニュー画面上の項目で、「*」が横についている項目にカーソルをあわせ、[決定]ボタンを押すと、下の階層のメニュー画面(サブ画面)が表示されます。

6



設定作業を終了し、通常の画面に戻すときは、[設定/ESC]ボタンを約2秒間押します。

メモ

- ・セットアップメニュー画面右上に表示される数字はソフトのバージョンを表しています。操作上は関係ありません。
- ・アラーム動作中はセットアップメニューを開くことはできません。また、設定中にアラームが発生した場合は、メニュー画面の表示が消えカメラ映像に切り換わります。
ただし、それまでに設定した内容は、[設定/ESC]ボタンを押していません。

アラームの設定

アラーム動作モードの詳細項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。

下図アラーム設定画面は、工場出荷時の状態を表しています。

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	
アラームスケジュール	OFF
キリカエロスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	25 SEC
アラームブザー	25 SEC
タガメンモニタドウサ	ALM-IND
ステップタイム	25 SEC
スポットモニタドウサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE0

アラーム設定画面

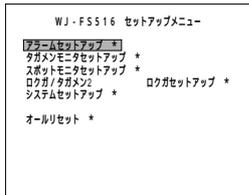
アラームリコール						
NO	DATE	TIME	CAM	ALM-MODE	1 / 10	
10	97-11	12:00:00	16CH	TRM 1		
9	96-12-12	4:00:00	10CH	TRM 2		
8	96-12-12	3:00:00	8CH	TRM 3		
7	96-12-12	2:00:00	7CH	CH-LOSS		
6	96-12-12	1:00:00	6CH	CH-LOSS		
5	96-12-11	15:00:00	5CH	PC 10		
4	96-12-11	14:00:00	4CH	PC 12		
3	96-12-11	13:00:00	3CH	PC 16		
2	96-12-11	12:00:00	2CH	CH-LOSS		
1	96-12-11	12:00:00	1CH	CH-LOSS		

ヒョウジ ()ツギ ()モデル

アラームリコール画面

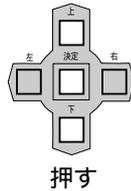
- アラームリコール アラームリコール画面を表示します。
- アラームスケジュール アラーム動作のON/OFF設定です。
ON : アラーム動作します。
OFF : アラーム動作しません。
- キリカエロスアラーム ... ビデオからのカメラ切替信号が途切れた場合の警告表示設定です。
ON : 画面に「SW LOSS」と警告表示します。
OFF : 警告表示しません。
- アラームヒョウジ アラーム信号が入力された場合の表示設定です。
ON : 画面に「ALARM」または「CH* LOSS」と表示します。
OFF : 表示しません。
- アラームアウト アラームが発生したときに、アラーム出力端子から信号が出力される時間を設定します。この数値は、アラームが自動復帰する時間でもあります。
1SEC ~ 5MIN : 1秒から5分の間で出力時間を設定します。
(SECは秒、MINは分を表します。)
EXT : アラーム動作中、常に出力します。
(自動復帰しません。)
- アラームブザー アラームが発生したときに、ブザーを鳴らす時間を設定します。
OFF : ブザーを鳴らしません。
1SEC ~ 5MIN : 1秒から5分の間で出力時間を設定します。
EXT : アラーム動作中、常にブザーを鳴らします。
- タガメンモニタドウサ ... 多画面モニターのアラーム時動作を設定します。
ALM-LINK : 多画面モニターがアラーム連動モードで動作します。
ALM-IND : 多画面モニターがアラームインジケートモードで動作します。
- ステップタイム アラームシーケンス時の1ステップあたりの表示時間を1秒から30秒の間で設定します。
- スポットモニタドウサ ... スポットモニターのアラーム時動作を設定します。
ALM-SPOT : スポットモニターがアラームスポットモードで動作します。
ALM-IGNORE : スポットモニターがアラーム無視モードで動作します。
- ユウセンロクガ アラーム動作時の優先録画を設定します。
ON : 優先録画を行います。
OFF : 優先録画は行いません。
- RECタイムモード アラーム動作時の録画モードを設定します。
MODE0 : 通常録画
MODE1 ~ 8 : タイムラプスモード(切替信号無し)
MODE9 : タイムラプスモード(切替信号有り)

アラーム設定画面の表示



セットアップメニュー画面

1



押す

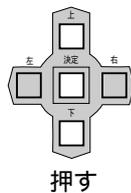
[上,下]ボタンでカーソルを「アラームセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。アラームメニュー画面が表示されます。

アラーム履歴の表示



アラームメニュー画面

1



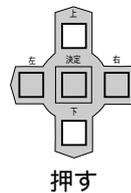
押す

[上,下]ボタンでカーソルを「アラームリコール *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。アラームリコール画面が表示されます。



アラームリコール画面

2



押す

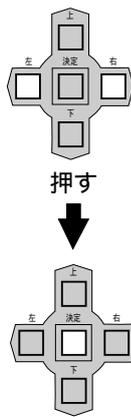
[上]ボタンを押すと、表示より新しい履歴を表示します。

[下]ボタンを押すと、表示より古い履歴を表示します。



履歴を消去する状態

3



押す

アラーム履歴を消去するときは、[左,右]ボタンを押して、画面左下の文字を「ヒョウジ」から「クリア *」にします。

[決定]ボタンを押すと、アラーム履歴が消去されます。

4

設定 / E S C



押す

アラームメニュー画面に戻るときは、[設定 /ESC]ボタンを押します。

メモ

- ・手順2では、最新の履歴が表示されているときに[上]ボタンを押しても変化しません。
- ・表示される履歴数は、1画面に10件、最大100件までです。

アラームの設定

アラーム動作の設定(アラームスケジュール)

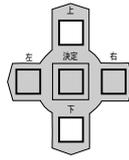
アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
キリカエロスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドクサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スボットモニタドクサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

OFFの場合

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	ON 0:00 - 0:00
アラームスケジュール	OFF
キリカエロスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドクサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スボットモニタドクサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

ONの場合

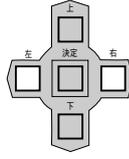
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「アラームスケジュール」の設定項目にあわせませう。

2



押す

[左,右]ボタンを押し、アラーム動作(ON/OFF)を設定します。「ON」を選択するとアラーム動作が有効となる時間を設定できます。(手順3へ)

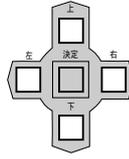
3



押す

カーソルが「ON」にある状態で、[決定]ボタンを押しませう。時間設定の項目にカーソルが移動します。

4



押す

[上,下]ボタンでカーソルを合わせ、[左,右]ボタンで時間を設定します。

5

設定 / E S C



押す

[設定/ESC]ボタンを押し、カーソルを「ON」の位置に戻します。

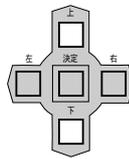
メモ

- ・手順4では、[カメラ]ボタン(1~16)で直接数値を入力することもできます。
- ・開始時間と終了時間を同じに設定すると、常にアラーム動作が有効になります。また、日付の変わる時間帯も設定できます。(例、22:00 ~ 6:00)

カメラ切換信号ロスアラームの設定(キリカエロスアラーム)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	ON
キリカエロスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドクサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スボットモニタドクサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

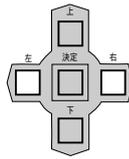
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「キリカエロスアラーム」の設定項目にあわせませう。

2



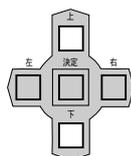
押す

[左,右]ボタンを押し、カメラ切換信号ロス時の警告表示(ON/OFF)を設定します。

アラーム表示の設定(アラームヒョウジ)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドワサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドワサ	ALM-SPOT
コウセンロウガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

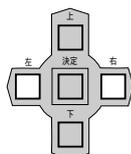
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「アラームヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

2



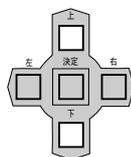
押す

[左,右]ボタンを押し、アラーム表示(ON/OFF)を設定します。

アラーム出力時間の設定(アラームアウト)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドワサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドワサ	ALM-SPOT
コウセンロウガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

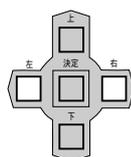
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「アラームアウト」の設定項目にあわせませす。

2



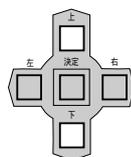
押す

[左,右]ボタンを押し、アラーム信号の出力時間を選択します。

ブザー出力時間の設定(アラームブザー)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガメンモニタドワサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドワサ	ALM-SPOT
コウセンロウガ	OFF
RECタイムモード	MODE 0

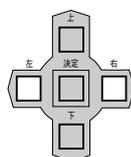
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「アラームブザー」の設定項目にあわせませす。

2



押す

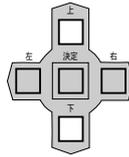
[左,右]ボタンを押し、アラームブザーを鳴らす時間を選択します。

アラームの設定

多画面モニターのアラーム時動作の設定(タガメンモニタドウサ)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームプザ	2 SEC
タガメンモニタドウサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドウサ	ALM-SPOT
コウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE0

1

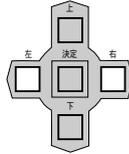


押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「タガメンモニタドウサ」の設定項目にあわせませす。

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームプザ	2 SEC
タガメンモニタドウサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドウサ	ALM-SPOT
コウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE0

2

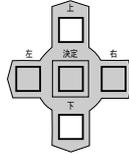


押す

[左,右]ボタンを押し、多画面モニターのアラーム時動作を選択します。「ALM-LINK」を選択した場合は、手順3以降の操作をします。

ステップタイムの設定状態

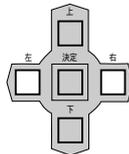
3



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ステップタイム」の設定項目にあわせませす。

4



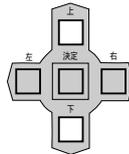
押す

[左,右]ボタンを押し、アラームシーケンス時の1ステップあたりの表示時間を選択します。

スポットモニターのアラーム時動作の設定(スポットモニタドウサ)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
キリカエスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームプザ	2 SEC
タガメンモニタドウサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドウサ	ALM-SPOT
コウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE0

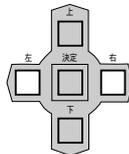
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「スポットモニタドウサ」の設定項目にあわせませす。

2



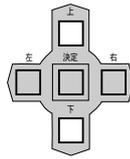
押す

[左,右]ボタンを押し、スポットモニターのアラーム時動作を選択します。

アラーム動作時の優先録画の設定(ユウセンロクガ)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
ギリギリエクスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガシモニタドリサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドリサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	MODE0
RECタイムモード	MODE0

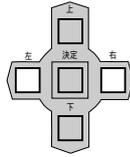
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ユウセンロクガ」の設定項目にあわせませす。

2



押す

[左,右]ボタンを押し、アラーム動作時の優先録画(ON/OFF)を設定します。

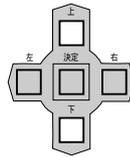
メモ

録画モード「MODE9」の設定(38ページ参照)が4分割画面録画のときに、RECタイムモードの設定(下記参照)でMODE9を選択した場合は、優先録画されません。

アラーム動作時の録画モードの設定(RECタイムモード)

アラーム セットアップ	
アラームリコール *	OFF
アラームスケジュール	OFF
ギリギリエクスアラーム	OFF
アラームヒョウジ	ON
アラームアウト	2 SEC
アラームブザー	2 SEC
タガシモニタドリサ	ALM-IND
ステップタイム	2 SEC
スポットモニタドリサ	ALM-SPOT
ユウセンロクガ	OFF
RECタイムモード	MODE0

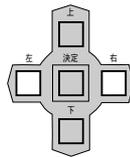
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「RECタイムモード」の設定項目にあわせませす。

2



押す

[左,右]ボタンを押し、アラーム動作時の録画モード(MODE0 ~ MODE9)を設定します。

メモ

- ・MODE1 ~ 8は、録画モードの設定で切換タイミングが設定されていないと選択できません。(38、39ページ参照)
- ・ビデオをアラームに連動させるには、アラーム出力端子とビデオを接続する必要があります。(接続のしかた、61ページ参照)
- ・ビデオ側のアラーム録画モードは、「RECタイムモード」と必ず一致する

各項目の設定が終わったら

1

設定 / ESC



押す

[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。画面は、セットアップメニュー画面に戻ります。

多画面出力の設定

多画面モニター上に出力する項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。

下記の多画面モニター設定画面は、工場出荷時の設定を表しています。

タグメンモニタ セットアップ	
タイトルヒョウジ	ON
トケイヒョウジ	ON
STILLヒョウジ	ON
ブンカツセン	WHITE
ヒョウジカメラCH	セットアップ *
シーケンスモード	SEQ2

多画面モニター設定画面

	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

表示カメラCH設定画面

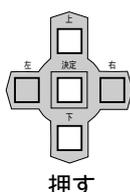
- タイトルヒョウジ タイトルの表示設定です。
ON : 設定したカメラタイトルを表示します。
OFF : 表示しません。
- トケイヒョウジ 時計の表示設定です。
ON : 日付・時刻を表示します。
OFF : 表示しません。
- STILLヒョウジ 静止画にした場合の表示設定です。
ON : 画面上に「STILL」と表示します。
OFF : 表示しません。
- ブンカツセン 画面の分割線の色を以下の中から選択し設定します。
WHITE(白)、GRAY(灰色)、BLACK(黒)、OFF(なし)
- ヒョウジカメラCH 多画面モニターに表示するカメラ映像のチャンネル番号を設定します。この設定は、「表示カメラCH設定画面」に移り行きます。
- シーケンスモード 多画面モニター上で起動させるシーケンスの種類を以下の中から選択し、設定します。
SEQ1 : 1画面シーケンス
SEQ2 : 多画面シーケンス(マルチシーケンス)
SEQ3 : 多画面シーケンス(マルチシーケンス)

多画面モニター設定画面の表示

WJ-F5516 セットアップメニュー	
アームセットアップ *	
タグメンモニタセットアップ *	
スロットモニタセットアップ *	
ログガ/タグメン2	ログガセットアップ *
システムセットアップ *	
オールリセット *	

セットアップメニュー画面

1



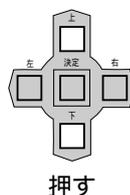
押す

[上,下]ボタンでカーソルを「タグメンモニタセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。
多画面モニター設定画面が表示されます。

カメラタイトル表示の設定(タイトルヒョウジ)

タグメンモニタ セットアップ	
タイトルヒョウジ	ON
トケイヒョウジ	ON
STILLヒョウジ	ON
ブンカツセン	WHITE
ヒョウジカメラCH	セットアップ *
シーケンスモード	SEQ2

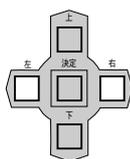
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「タイトルヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

2



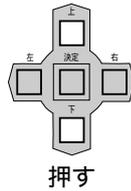
押す

[左,右]ボタンを押し、タイトル表示(ON/OFF)を設定します。

時計表示の設定(トケイヒョウジ)

タガメンモニタ セットアップ	
タイトルヒョウジ	ON
トケイヒョウジ	ON
STILLヒョウジ	ON
ブンカツセン	WHITE
ヒョウジカメラCHセットアップ*	SEQ2
シーケンスモード	SEQ2

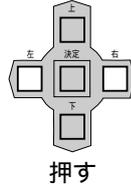
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「トケイヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

2



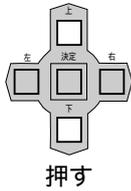
押す

[左,右]ボタンを押し、時計表示(ON/OFF)を設定します。

スチル表示の設定(STILLヒョウジ)

タガメンモニタ セットアップ	
タイトルヒョウジ	ON
トケイヒョウジ	ON
STILLヒョウジ	ON
ブンカツセン	WHITE
ヒョウジカメラCHセットアップ*	SEQ2
シーケンスモード	SEQ2

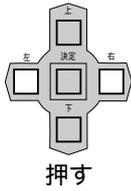
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「STILLヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

2



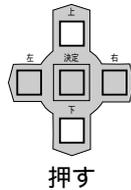
押す

[左,右]ボタンを押し、STILL表示(ON/OFF)を設定します。

分割線の設定(ブンカツセン)

タガメンモニタ セットアップ	
タイトルヒョウジ	ON
トケイヒョウジ	ON
STILLヒョウジ	ON
ブンカツセン	WHITE
ヒョウジカメラCHセットアップ*	SEQ2
シーケンスモード	SEQ2

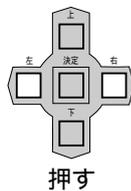
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ブンカツセン」の設定項目にあわせませす。

2

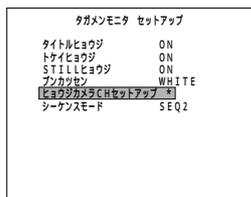


押す

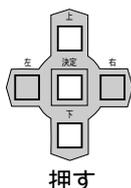
[左,右]ボタンを押し、分割線の色を設定します。

多画面出力の設定

多画面モニターに表示するカメラ映像の設定(ヒョウジカメラCHセットアップ)



1

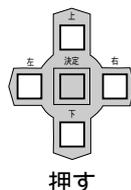


[上,下]ボタンでカーソルを「ヒョウジカメラCHセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。
表示カメラCH設定画面が表示されます。

	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

表示カメラCH設定画面

2



表示するカメラ映像(1~16CH)を設定します。
[上,下]: カーソルがチャンネル番号部を移動します。
[左,右]: チャンネル番号を設定します。
設定すると、モニター上のカメラ映像が切り換わります。

3

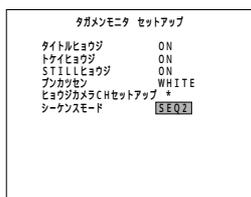


[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。
画面は、多画面モニター設定画面に戻ります。

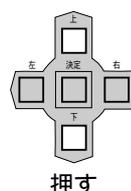
メモ

- ・手順2では、[カメラ]ボタン(1~16)で直接チャンネル番号を指定することもできます。
- ・表示位置を変更しても、録画出力には影響しません。

シーケンスパターンの選択(シーケンスモード)

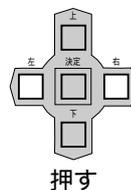


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「シーケンスモード」の設定項目にあわせませす。

2



[左,右]ボタンを押し、シーケンスの種類を設定します。
シーケンスパターンの設定は、46ページをご覧ください。

各項目の設定が終わったら

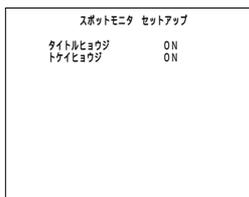
1



[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。
画面は、セットアップメニュー画面に戻ります。

スポット出力の設定

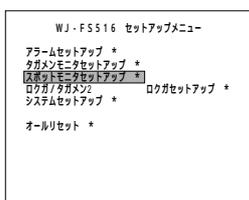
スポットモニター上に出力する項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。
下記のスポットモニター設定画面は、工場出荷時の設定を表しています。



スポットモニター設定画面

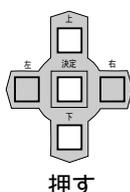
- タイトルヒョウジ タイトルの表示設定です。
ON : 設定したカメラタイトルを表示します。
OFF : 表示しません。
- トケイヒョウジ 時計の表示設定です。
ON : 日付・時刻を表示します。
OFF : 表示しません。

スポットモニター設定画面の表示



セットアップメニュー画面

1



押す

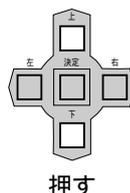
[上,下]ボタンでカーソルを「スポットモニターセットアップ *」に合わせ、[決定]ボタンを押します。
スポットモニター設定画面が表示されます。

カメラタイトルおよび時計表示の設定(タイトルヒョウジ、トケイヒョウジ)



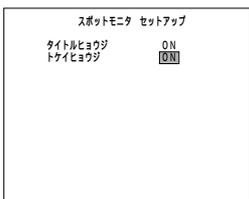
タイトル表示を設定する場合

1



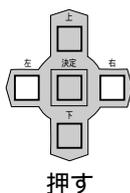
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「タイトルヒョウジ」または「トケイヒョウジ」の設定項目にあわせます。



時計表示を設定する場合

2



押す

[左,右]ボタンを押し、タイトル表示または時計表示のON/OFFを設定します。

各項目の設定が終わったら

1



[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。
画面は、セットアップメニュー画面に戻ります。

録画出力の設定

カメラ映像とともに録画する項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。

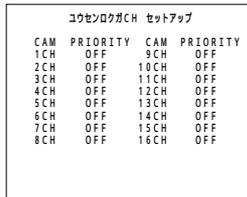
下記の録画設定画面は、工場出荷時の設定を表しています。



録画設定画面

タイトルヒョウジ タイトル表示の録画設定です。
 ON : カメラ映像と共にタイトルを録画します。
 OFF : タイトルは録画しません。

トケイヒョウジ 時計表示の録画設定です。
 ON : カメラ映像とともに、日付・時刻を録画します。
 OFF : 日付・時刻は録画しません。



優先録画CH設定画面

ユウセンロクガCHセットアップ ... カメラの接続台数が5台以上の場合、優先的に録画するカメラのチャンネル番号を設定します。4台以下では、優先録画の設定は無効です。この設定は、「優先録画CH設定画面」に移り行きます。

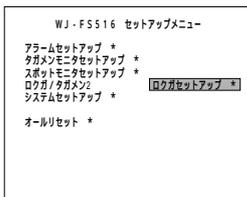


録画モード設定画面

ロクガモードセットアップ 録画モードを設定します。この設定は、「録画モード設定画面」に移り行きます。

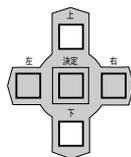
録画出力端子の設定(ロクガ/タガメン2)と録画設定画面の表示

本機後面の録画出力端子を、録画出力が多画面モニター2出力のどちらかに設定します。



セットアップメニュー画面

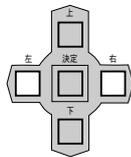
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ロクガ/タガメン2」の設定項目にあわせませす。

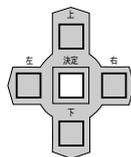
2



押す

[左,右]ボタンを押し録画出力端子の設定をします。
 ここでは「ロクガセットアップ *」に設定します。

3



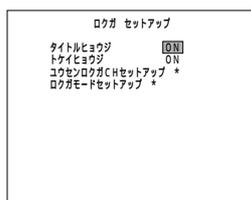
押す

カーソルを「ロクガセットアップ *」にあわせた状態で、[決定]ボタンを押します。
 録画設定画面が表示されます。

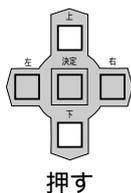
メモ

手順2で「タガメン2セットアップ *」に設定すると、本機後面の録画出力端子を多画面モニター2出力端子として使用できるようになります。その設定については、41ページをご覧ください。

カメラタイトル表示の設定(タイトルヒョウジ)



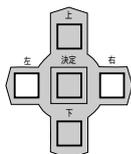
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「タイトルヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

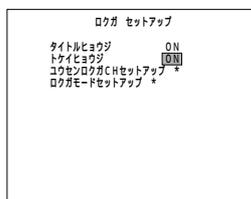
2



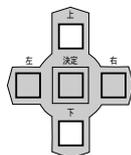
押す

[左,右]ボタンを押し、タイトル表示の録画(ON/OFF)を設定します。

時計表示の設定(トケイヒョウジ)



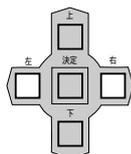
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「トケイヒョウジ」の設定項目にあわせませす。

2

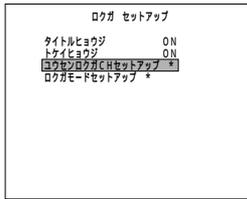


押す

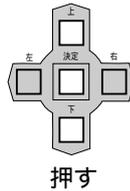
[左,右]ボタンを押し、時計表示の録画(ON/OFF)を設定します。

録画出力の設定

優先的に録画するカメラのチャンネル番号設定

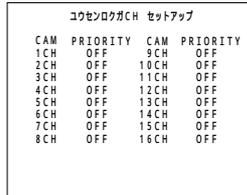


1

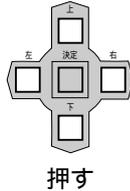


[上,下] ボタンでカーソルを「ユウセンログガCHセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。

優先録画CH設定画面が表示されます。

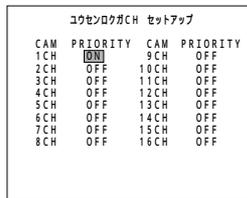


2



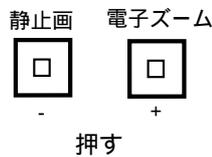
[上,下,左,右] ボタンを押すと、「PRIORITY」の列をカーソルが移動しますので、優先録画するカメラチャンネル番号のPRIORITY部に合わせます。

優先録画CH設定画面



1CHを優先録画に設定した場合

3



[静止画]、[電子ズーム]ボタンを押し、設定を「ON」にします。

4

複数設定する場合は、手順2,3の操作を繰り返してください。

(2チャンネル以内をおすすめします)

5



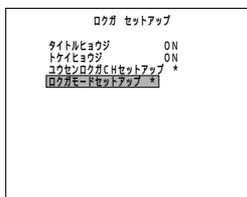
[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。画面は、録画設定画面に戻ります。

メモ

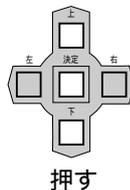
録画モードの設定(下記参照)で、4分割画面録画(MODE9 EXT4)を選択した場合は、優先録画されません。

録画モードの設定

(1)録画モード設定画面の表示

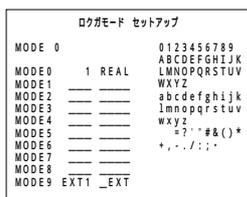


1



[上,下] ボタンでカーソルを「ログモードセットアップ *」に合わせ、[決定]ボタンを押します。

録画モード設定画面が表示されます。

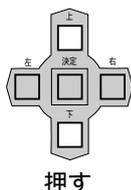


録画モード設定画面

(2)録画モードの選択

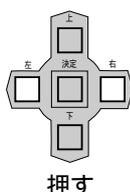
ログモード セットアップ	
MODE 0	0123456789
MODE 1	ABCDEFGHIJK
MODE 2	LMNOPQRSTU
MODE 3	WXYZ
MODE 4	abcdefghijklmnop
MODE 5	qrstuvwxyz
MODE 6	WXYZ
MODE 7	? * & () *
MODE 8	+ , . / : ; *
MODE 9	eXT1 _EXT

1



[上,下] ボタンを押し、カーソルを「MODE」の設定項目にあわせませす。

2



[左,右]ボタンを押し、録画モード(0~9)を設定します。

- 0 : 通常録画(工場出荷時の設定)
- 1~8 : タイムラプス録画(カメラ切換信号を使用しないビデオ用)
- 9 : タイムラプス録画(カメラ切換信号を使用するビデオ用)

メモ

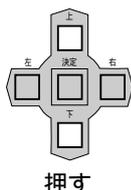
MODE1~8は、切換タイミングが設定されていないと選択できません。切換タイミングの設定については、下記「(3)録画モードの詳細設定」をご覧ください。

(3)録画モードの詳細設定

ログモード セットアップ	
MODE 0	0123456789
MODE 1	ABCDEFGHIJK
MODE 2	LMNOPQRSTU
MODE 3	WXYZ
MODE 4	abcdefghijklmnop
MODE 5	qrstuvwxyz
MODE 6	WXYZ
MODE 7	? * & () *
MODE 8	+ , . / : ; *
MODE 9	eXT1 _EXT

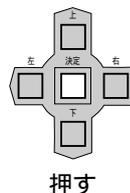
切換タイミング設定部に

1



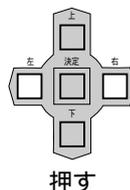
[上,下] ボタンを押し、設定したいモード(MODE0~9)にカーソルをあわせませす。

2



[決定]ボタンを押し、切換タイミング設定部(右どなり)にカーソルを移動します。(MODE0は、切換タイミングが固定値のため、カーソルはモードタイトル設定部に移動し

3

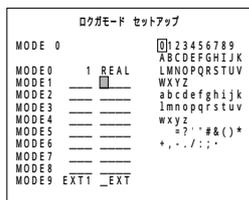


MODE1~8の場合
[左,右]ボタンまたは[カメラ]ボタン(1~10)を押し、VTRに合った切換タイミング(VTRの取扱説明書を参照)をフィールド単位(4~999フィールドの間)で指定します。

MODE9の場合
[左,右] ボタンを押し、1画面録画(EXT1)か4分割画面録画(EXT4)のどちらかを選択します。

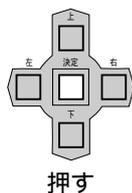
(次ページへつづく)

録画出力の設定



モードタイトル設定部に

4



押す

[決定]ボタンを押し、モードタイトル設定部(右となり)にカーソルを移動します。マップ部の「0」にカーソル枠が表示されます。

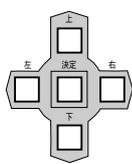
5



押す

[機能]ボタンを押すとマップ部がカタカナになります。押すたびに英字 カナ 濁音カナの順番で切り換わります。

6



押す

[上,下,左,右]ボタンを押してマップ部のカーソル枠を文字に合わせ、[決定]ボタンを押すと選択した文字が入力されます。この操作を繰り返し、タイトルを作成します。

7



押す

入力した文字を修正するときは、[静止画],[電子ズーム]ボタンを押し、モードタイトル設定部のカーソルを修正する文字にあわせて、再度入力します。

8



押す

[設定/ESC]ボタンを押し、カーソルをMODE部に戻します。

9



押す

他のMODEを設定するときは、手順1~8を繰り返します。設定が終わるときは、[設定/ESC]ボタンを押し、録画設定画面に戻ります。

メモ

- ・4分割画面録画できるのは、「MODE9 EXT4」を選択した場合のみです。
- ・4分割画面録画のチャンネル位置は固定です。

1	2	5	6	9	10	13	14
3	4	7	8	11	12	15	16

各項目の設定が終わったら

1



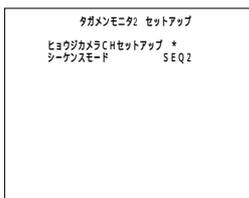
押す

[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了します。画面は、セットアップメニュー画面に戻ります。

多画面出力2の設定

多画面モニター2上に出力する項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。

下記の多画面モニター2設定画面は、工場出荷時の設定を表しています。



多画面モニター2設定画面

ヒョウジカメラCHセットアップ 多画面モニター2に表示するカメラ映像のチャンネル番号を設定します。この設定は、「表示カメラセット画面」に移り行きます。

シーケンスモード モニター2上で起動させるシーケンスの種類を以下の中から選択し、設定します。

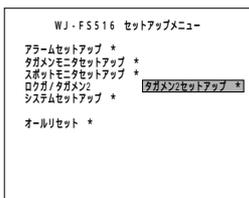
- SEQ1 : 1画面シーケンス
- SEQ2 : 多画面シーケンス
(マルチシーケンス)
- SEQ3 : 多画面シーケンス
(マルチシーケンス)

	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

表示カメラCH設定画面

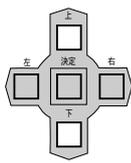
録画出力端子の設定(ロクガ/タガメン2)と多画面モニター2設定画面の表示

本機後面の録画出力端子を、多画面モニター2出力に設定します。



セットアップメニュー画面

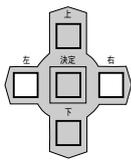
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ロクガ/タガメン2」の設定項目にあわせませす。

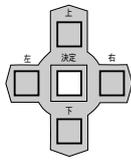
2



押す

[左,右]ボタンを押し、録画出力端子の設定をします。
ここでは「タガメン2セットアップ *」に設定します。

3



押す

カーソルを「タガメン2セットアップ *」に合わせた状態で、[決定]ボタンを押します。
多画面モニター2設定画面が表示されます。

メモ

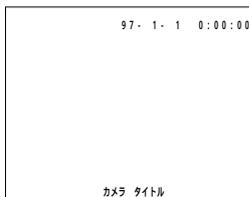
- ・表示するカメラチャンネルの設定およびシーケンスパターンの設定方法は、多画面出力の設定方法と同じ操作ですので32ページをご覧ください。
- ・カメラタイトル、時計、分割線の表示は、多画面出力の設定で設定した

システムの設定

システムの詳細項目を設定します。設定内容は以下のとおりです。
下記のシステム設定画面は、工場出荷時の設定を表しています。

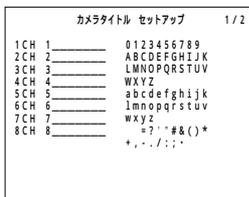


システム設定画面(1/2)



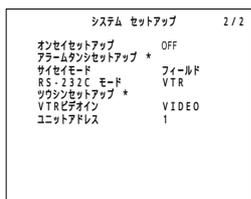
時計表示位置設定画面

カメラタイトル位置設定画面

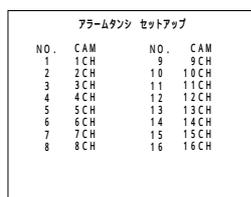


カメラタイトル設定画面

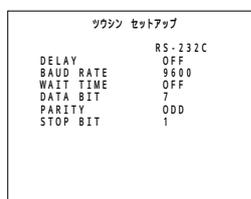
- トケイセットアップ 日付・時刻を設定します。
(年数は西暦の下2桁表示)
- トケイヒョウジイチ 日付・時刻を表示する位置を設定します。
この設定は「時計表示位置設定画面」に移り行きます。
- カメラタイトルセットアップ ... タイトル表示する文字(最大8文字)を設定します。
この設定は「カメラタイトル設定画面」に移り行きます。
- カメラタイトルヒョウジイチ ... カメラタイトルを表示する位置を設定します。
この設定は「カメラタイトル位置設定画面」に移り行きます。
- シーケンスセットアップ シーケンスの種類と詳細項目を設定します。
詳細項目は、それぞれの設定画面に移り行きます。
- シーケンスキリカエ(タグメン) ... 多画面出力で起動するシーケンスの表示時間の制御方法を設定します。
SEQ1 : 1画面シーケンス。最大32ステップで構成されます。
SEQ2、SEQ3 : 多画面シーケンス。最大5ステップで構成されます。
- シーケンスキリカエ(スポット) ... スポット出力で起動するシーケンスの表示時間の制御方法を設定します。
INT(TIME-ADJ): シーケンスセットの設定画面で設定した表示時間で各ステップを切り換えます。このときアラーム/リモート制御端子26番ピンは時刻同期入力として使用できます。
EXT : アラーム/リモート制御端子26番ピンからの入力にしたがって各ステップを切り換えます。
- ロックモード ロックスイッチを「入」にしたときの設定です。
ALL : ロックスイッチと電源スイッチ以外のすべてのボタンをロックします。
VTR : ビデオコントロールボタンのみロックします。この場合、ロックスイッチを「入」にしても、ロック表示(LED)は点灯しません。



システム設定画面(2/2)



アラーム端子設定画面



通信設定画面

オンセイセットアップ 音声出力を以下の中から選択し、設定します。

- OFF : 音声を出しません。
- LINK : スポットモニター(スポット出力)に表示したチャンネルの音声を出します。
- MIX : 音声入力1~16の音声をミックスして聞くときに選択します。
- 1CH~16CH : 特定のカメラ番号のみの音声を聞くときに、その番号を選択します。

アラームタンシセットアップ ... アラーム入力端子のピンとチャンネルの対応づけを設定します。この設定は、「アラーム端子設定画面」に移り行きます。

サイセイモード 再生時のIDコード読み取り方式を設定します。

- フィールド : WJ-FS20,FS50方式
- FS10 : WJ-FS10,FS10A方式

RS-232Cモード RS-232C端子の使用方法を設定します。

- VTR : VTR制御に使用。
- PC : パソコンによる外部制御に使用。

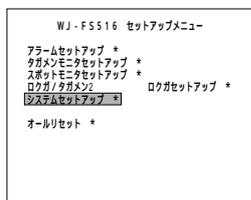
ツウシンセットアップ RS-232C端子の伝送速度を設定します。この設定は、「通信設定画面」に移り行きます。

VTRビデオイン 再生入力端子として使用する端子を設定します。

- VIDEO : BNC端子 S-VIDEO : S端子

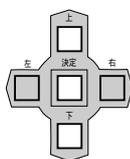
ユニットアドレス 本機を複数台接続しパソコン制御する際の識別番号(1~16)を設定します。

システム設定画面の表示



セットアップメニュー画面

1



押す

[上,下]ボタンでカーソルを「システムセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。

システム設定画面(1/2)が表示されます。

2



押す

[機能]ボタンを押すと、システム設定画面(2/2)に切り換わります。

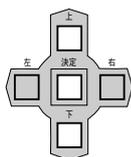
再度押すと、1/2ページに戻ります。

システムの設定

時計の設定(トケイセットアップ)



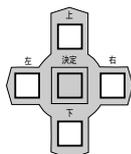
1



押す

[上,下]ボタンでカーソルを「トケイセットアップ」にあわせ、[決定]ボタンを押します。設定項目にカーソルが移動します。

2



押す

[上,下]ボタンで「年,月,日,時,分」にカーソルを合わせ、[左,右]ボタンで数値を設定します。

3

設定 / E S C



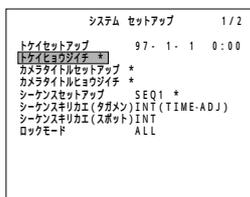
押す

[設定/ESC]ボタンを押し、カーソルを「トケイセットアップ」に戻すと時刻が設定されます。

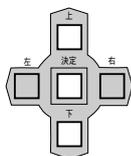
メモ

- ・手順2の数値設定では、[カメラ]ボタン(1~16)で直接数値を入力することもできます。
- ・年入力は、1桁ずつの入力となります。
- ・本機はタイムジェネレータ(内蔵)により、日付・時刻の表示ができますが、使用する環境により時刻の誤差が生じることがあります。ご使用の前には、必ず時刻を合わせてください。
- ・停電後の復帰時間が常温で72時間以内であれば、日付・時刻のデータは保存されます。(内蔵電池が十分に充電されている場合に限りです。)
- ・停電時は、内蔵電池で稼働しているため、時計精度が多少悪くなること

時計表示位置の設定(トケイヒョウジイチ)



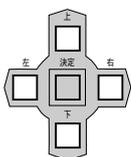
1



押す

[上,下]ボタンでカーソルを「トケイヒョウジイチ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。時計表示位置設定画面が表示されます。

2



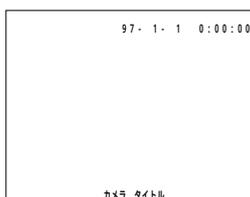
押す

設定 / E S C



押す

[上,下,左,右]ボタンで表示位置を合わせ、[設定/ESC]ボタンを押します。設定が完了し、システム設定画面に戻ります。



時計表示位置設定画面

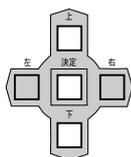
メモ

時計表示をカメラタイトルと同じ行に設定すると、多画面出力と録画出力には一行ずれて表示されますのでご注意ください。

カメラタイトルの設定(カメラタイトルセットアップ)

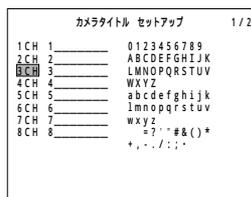


1



押す

[上,下]ボタンでカーソルを「カメラタイトルセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。カメラタイトル設定画面(1/2)が表示されます。



2

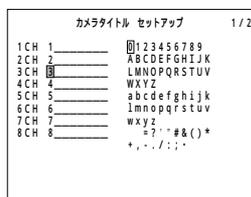
機能



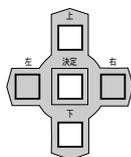
押す

[機能]ボタンを押すとカメラタイトル設定画面(2/2)に切り換わります。再度押すと、1/2ページに戻ります。

チャンネル部にカーソルがある状態



3



押す

[上,下]ボタンを押して、タイトルを設定するカメラのチャンネル番号にカーソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。カーソルがタイトル部に移動し、マップ部の

タイトル部にカーソルがある状態



4

機能



押す

マップ部にカーソル枠がある状態で[機能]ボタンを押すと、押すごとにマップ部が英数字、カナ、濁点カナと切り換わります。

タイトルを入力した状態



6

静止画 電子ズーム



押す

入力した文字を修正するときは、[静止画],[電子ズーム]ボタンを押し、タイトル部のカーソルを修正する文字にあわせて、再度入力します。

7

設定 / E S C



押す

[設定/ESC]ボタンを押すと、チャンネル番号部(左どなり)へカーソルが戻ります。他のチャンネルを設定するときは、手順2~7を繰り返します。

8

設定 / E S C

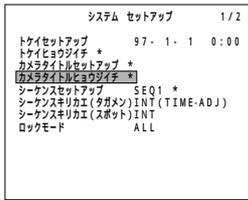


押す

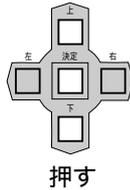
[設定/ESC]ボタンを押し、システム設定画面に戻ります。

システムの設定

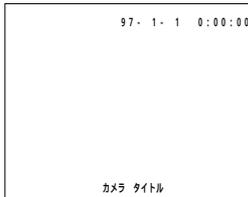
カメラタイトル位置の設定(カメラタイトルヒョウジイチ)



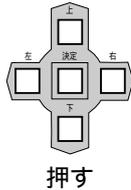
1



[上,下]ボタンでカーソルを「カメラタイトルヒョウジイチ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。カメラタイトル位置設定画面が表示されます。



2



設定 / E S C



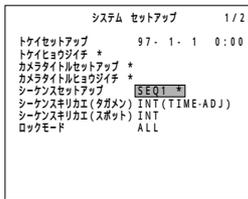
押す

[上,下,左,右]ボタンで表示位置を合わせ、[設定/ESC]ボタンを押します。設定が完了し、システム設定画面に戻ります。

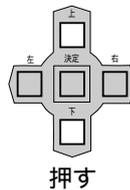
カメラタイトル位置設定画面

シーケンスの設定(シーケンスセット)

(1)設定するシーケンスの種類の設定

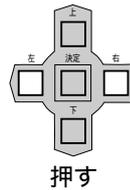


1



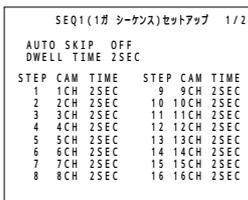
[上,下]ボタンを押し、カーソルを「シーケンスセット」の設定項目にあわせませす。

2



[左,右]ボタンを押し、設定するシーケンス (SEQ1,SEQ2,SEQ3)を選択します。選択後は、詳細項目の設定に移ります。

(2)シーケンスの詳細設定



SEQ1設定画面

シーケンスの順番、オートスキップ(AUTO SKIP)、映像表示時間(DWELL)の設定をします。

オートスキップと映像表示時間の設定内容は、以下のとおりです。

AUTO SKIP..... シーケンス表示する際に、カメラの接続されていないチャンネルを自動的にスキップする設定です。ただし、ビデオ再生画のステップについては無効の内容です。

ON : スキップします。

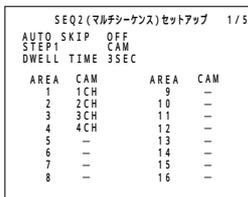
OFF: スキップしません。

DWELL TIME ... 1ステップあたりの映像の表示時間を0秒から30秒までの間で、1秒単位で設定します。

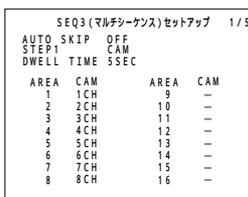
STEP 1 ~ 5 そのステップで見る映像を設定します。この設定は、SEQ2, 3の場合のみです。

CAM : カメラ映像

PLAY: ビデオ再生画



SEQ2設定画面



SEQ3設定画面

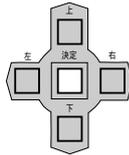
シーケンスの種類を「SEQ1」に設定した場合は47ページ、「SEQ2」および「SEQ3」に設定した場合は48ページをご覧ください。

①1画面シーケンスの場合(SEQ1)

工場出荷時は、カメラチャンネル1CH,2CH・・・16CH,1CH・・・と設定されています。

システム セットアップ 1/2	
トケイセットアップ	97- 1- 1 0:00
トケイバックライト	*
カメラバックライト	*
カメラバックライト	*
シーケンスセットアップ	SEQ1
シーケンスキリかえ(タグメン)	INT (TIME-ADJ)
シーケンスキリかえ(スポット)	INT
ロックモード	ALL

1

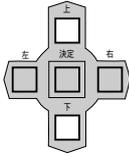


押す

カーソルを「SEQ1 *」に合わせた状態で [決定]ボタンを押します。
SEQ1設定画面が表示されます。

SEQ1 (1ガ シーケンス)セットアップ 1/2					
AUTO SKIP	OFF				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

2



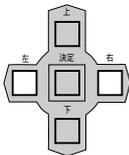
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「AUTO SKIP」の設定項目にあわせませう。

SEQ1設定画面

SEQ1 (1ガ シーケンス)セット 1/2					
AUTO SKIP	ON				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

3



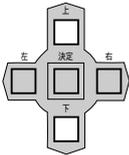
押す

[左,右]ボタンを押し、AUTO SKIP(ON/OFF)を設定します。

スキップの設定状態

SEQ1 (1ガ シーケンス)セット 1/2					
AUTO SKIP	ON				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

4



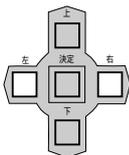
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「DWELL TIME」の設定項目にあわせませう。

表示時間の設定状態

SEQ1 (1ガ シーケンス)セット 1/2					
AUTO SKIP	ON				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

5



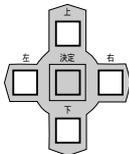
押す

[左,右]ボタンを押し、1ステップごとの画面表示時間(0SEC ~ 30SEC)を設定します。各ステップ一律の設定です。0SECにするとシーケンスは動作しません。

表示順序の設定状態

SEQ1 (1ガ シーケンス)セット 1/2					
AUTO SKIP	ON				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

6



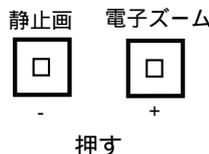
押す

[上,下,左,右]ボタンを押し、カーソルを変更したいステップ番号のCAMの列にあわせませう。

ステップごとの表示時間設定状態

SEQ1 (1ガ シーケンス)セット 1/2					
AUTO SKIP	ON				
DWELL TIME	2SEC				
STEP	CAM	TIME	STEP	CAM	TIME
1	1CH	2SEC	9	9CH	2SEC
2	2CH	2SEC	10	10CH	2SEC
3	3CH	2SEC	11	11CH	2SEC
4	4CH	2SEC	12	12CH	2SEC
5	5CH	2SEC	13	13CH	2SEC
6	6CH	2SEC	14	14CH	2SEC
7	7CH	2SEC	15	15CH	2SEC
8	8CH	2SEC	16	16CH	2SEC

7

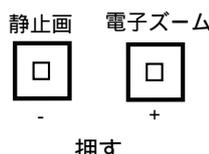


押す

[静止画]、[電子ズーム]ボタンを押し、表示させたいチャンネル番号を設定します。

- 1 ~ 16 : カメラチャンネル
- P1 ~ P16 : ビデオ再生画のチャンネル
- : チャンネルを割り当てない

8



押す

ステップごとの画面表示時間を変えるときは、[左,右]ボタンを押し「TIME」の列にカーソルをあわせ、[静止画]、[電子ズーム]ボタンで画面表示時間を設定します。

(次ページへつづく)

システムの設定

9  機能
押す

必要に応じて、手順6,7,8を繰り返します。
[機能]ボタンを押すと設定画面の2ページ目に切り換わり、17~32ステップの設定ができます。

10  設定 / E S C
押す

[設定/ESC]ボタンを押し、システム設定画面に戻ります。

メモ

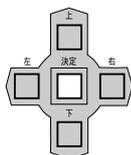
- ・手順7は、[カメラ]ボタン(1~16)で設定することもできます。
- ・手順8の設定を行い各ステップ間で表示時間に違いが生じると、「DWELL TIME」部の設定内容は無効となり、「-」が表示されます。

②多画面シーケンスの場合(SEQ2、SEQ3)

工場出荷時、SEQ2はカメラ映像4画面シーケンスに、SEQ3はカメラ映像9画面シーケンスに設定され

システム セットアップ 1/2			
トキセットアップ	97-1-1	0:00	
トキヒヨウジチ *			
カメラタイトルセットアップ *			
カメラタイトルヒヨウジチ *			
シーケンスセットアップ			[SEQ2]
シーケンスリカエ(タガメン) INT(TIME-ADJ)			
シーケンスリカエ(スロット) INT			
ロックモード			ALL

1

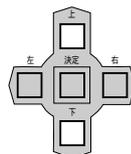


押す

カーソルを「SEQ2 *」または「SEQ3 *」にあわせた状態で、[決定]ボタンを押します。SEQ2,3設定画面が表示されます。

SEQ2 (マルチシーケンス)セットアップ 1/5			
AUTO SKIP	OFF		
STEP1	CAM		
DWELL TIME	3SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM
1	1CH	9	-
2	2CH	10	-
3	3CH	11	-
4	4CH	12	-
5	-	13	-
6	-	14	-
7	-	15	-
8	-	16	-

2



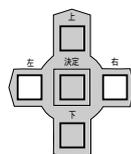
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「AUTO SKIP」の設定項目にあわせませす。

SEQ2,3設定画面 (1/5)

SEQ2 (マルチシーケンス)セットアップ 1/5			
AUTO SKIP	ON		
STEP1	CAM		
DWELL TIME	3SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM
1	1CH	9	-
2	2CH	10	-
3	3CH	11	-
4	4CH	12	-
5	-	13	-
6	-	14	-
7	-	15	-
8	-	16	-

3

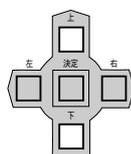


押す

[左,右]ボタンを押し、AUTO SKIP(ON/OFF)を設定します。

スキップの設定状態

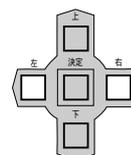
4



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「STEP 1」の設定項目にあわせませす。

5



押す

[左,右]ボタンを押し、そのステップで見る映像 (CAM/PLAY) を設定します。

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 1 / 5				
AUTO	SKIP	ON		
STEP1	CAM			
DWELL	TIME	35SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	1CH	9	-	
2	2CH	10	-	
3	3CH	11	-	
4	4CH	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

表示時間の設定状態

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 1 / 5				
AUTO	SKIP	ON		
STEP1	CAM			
DWELL	TIME	35SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	1CH	9	-	
2	2CH	10	-	
3	3CH	11	-	
4	4CH	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

表示チャンネルの設定状態

[設定例]

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 1 / 5				
AUTO	SKIP	ON		
STEP1	CAM			
DWELL	TIME	35SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	1CH	9	-	
2	2CH	10	-	
3	3CH	11	-	
4	4CH	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

1ステップ目

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 2 / 5				
STEP2	CAM			
DWELL	TIME	35SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	5CH	5	-	
2	6CH	10	-	
3	7CH	11	-	
4	8CH	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

2ステップ目

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 3 / 5				
STEP3	CAM			
DWELL	TIME	55SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	9CH	9	-	
2	10CH	10	-	
3	11CH	11	-	
4	12CH	12	-	
5	13CH	13	-	
6	14CH	14	-	
7	15CH	15	-	
8	16CH	16	-	

3ステップ目

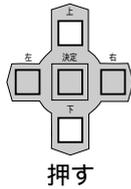
SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 4 / 5				
STEP4	CAM			
DWELL	TIME	05SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	13CH	9	-	
2	14CH	10	-	
3	15CH	11	-	
4	16CH	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

4ステップ目

SEQ2 (マルチシーケンス) セットアップ 5 / 5				
STEP5	CAM			
DWELL	TIME	05SEC		
AREA	CAM	AREA	CAM	
1	-	9	-	
2	-	10	-	
3	-	11	-	
4	-	12	-	
5	-	13	-	
6	-	14	-	
7	-	15	-	
8	-	16	-	

5ステップ目

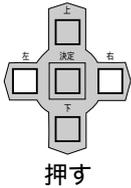
6



押す

[上,下]ボタンを押しカーソルを「DWELL TIME」の設定項目にあわせませう。

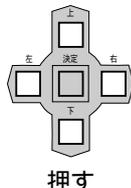
7



押す

[左,右]ボタンを押し、設定中のステップの画面表示時間(0SEC~30SEC)を設定します。0SECにすると、そのステップは表示されませう。

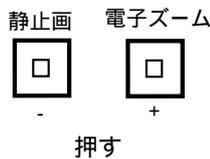
8



押す

[上,下,左,右]ボタンを押し、カーソルを変更したいエリア番号の「CAM」の列にあわせませう。

9



押す

[静止画]、[電子ズーム]ボタンを押し、そのエリアに表示させたいチャンネル番号を設定します。[カメラ]ボタン(1~16)でも設定できます。手順5で「CAM」を選択したときは「1~16CH、-」,「PLAY」を選択したときは「P1~P16CH、-」の中から選択します。

10



押す

必要に応じて、手順8,9を繰り返します。また、[機能]ボタンを押すごとに設定画面のページが切り換わりますので、手順2~9の操作を各ステップ(1/5~5/5)で行います。

11

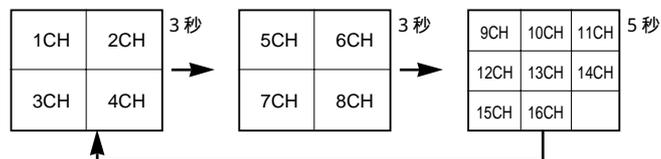


押す

[設定/ESC]ボタンを押し、システム設定画面に戻ります。

メモ

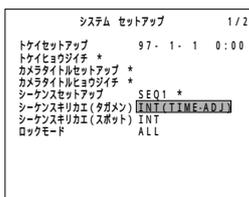
左記設定例での動作は以下のようになります。4ステップ、5ステップ目は、DWELLを「05SEC」にすることにより、スキップされます。



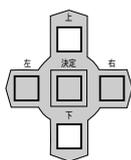
- 各画面の分割パターンは、チャンネルが割り当てられたエリアのうち、最も大きいエリア番号以上でかつ最小の分割数のパターンが自動的に選ばれます。
- チャンネルが割り当てられていないか、またはカメラが接続されていないチャンネルが割り当てられたエリアは黒画面となります。

システムの設定

多画面出力のシーケンス切換の設定(シーケンスキリカエ(タガメン))

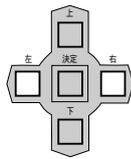


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「シーケンススキリカエ(タガメン)」の設定項目にあわせ
ます。

2

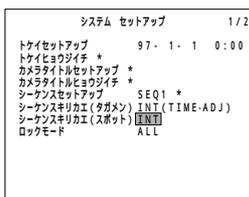


[左,右]ボタンを押し、多画面出力のシーケ
ンス切換 (INT(TIME-ADJ)/EXT) を設定します。

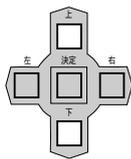
メモ

アラーム/リモート制御端子の26番ピンを時刻同期入力として使用したい場
合は、「INT(TIME-ADJ)」を選択してください。「EXT」を選択すると時刻
同期はできなくなります。

スポット出力のシーケンス切換の設定(シーケンススキリカエ(スポット))

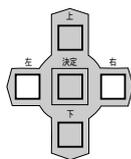


1



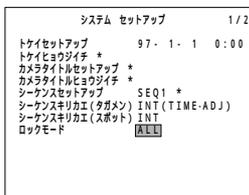
[上,下]ボタンを押し、カーソルを「シーケ
ンススキリカエ(スポット)」の設定項目にあ
わせます。

2

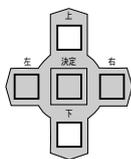


[左,右]ボタンを押し、スポット出力のシー
ケンス切換(INT/EXT)を設定します。

キーロックの設定(ロックモード)

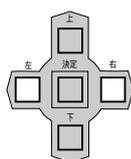


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ロック
モード」の設定項目にあわせ
ます。

2

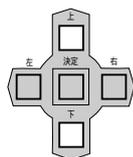


[左,右]ボタンを押し、ロックモード
(VTR/ALL)を設定します。

音声の設定(オンセイセットアップ)

システム セットアップ		2 / 2
オンセイセットアップ	OFF	
アラームタンシセットアップ *	フィールド	
サイゼイモード	VTR	
RS-232C モード	VTR	
ツウシツセットアップ *	VIDEO	
VTRビデオイン	VIDEO	
ユニットアドレス	1	

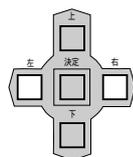
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「オンセイセットアップ」の設定項目にあわせませす。

2



押す

[左,右]ボタンを押し、音声 (OFF/LINK/MIX/1CH ~ 16CH)を設定します。

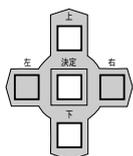
メモ

- ・音声入力を使用しないときは、「OFF」に設定してください。
- ・音声入力(再生)の音声は、ビデオ再生画を表示しているときのみ音声出力1から出力されます。(音声の設定を「OFF」以外にしたとき)

アラーム端子の設定(アラームタンシセットアップ)

システム セットアップ		2 / 2
オンセイセットアップ	OFF	
アラームタンシセットアップ *	フィールド	
サイゼイモード	VTR	
RS-232C モード	VTR	
ツウシツセットアップ *	VIDEO	
VTRビデオイン	VIDEO	
ユニットアドレス	1	

1

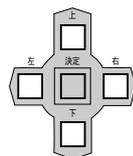


押す

[上,下]ボタンでカーソルを「アラームタンシセット *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。アラーム端子設定画面が表示されます。

アラームタンシ セットアップ			
NO.	CAM	NO.	CAM
1	1CH	9	9CH
2	2CH	10	10CH
3	3CH	11	11CH
4	4CH	12	12CH
5	5CH	13	13CH
6	6CH	14	14CH
7	7CH	15	15CH
8	8CH	16	16CH

2



押す

[上,下,左,右]ボタンを押し、チャンネルを割り当てる端子NO.の設定項目(CAMの列)にカーソルをあわせませす。

アラーム端子設定画面

アラームタンシ セットアップ			
NO.	CAM	NO.	CAM
1	1CH	9	9CH
2	2CH	10	10CH
3	3CH	11	11CH
4	4CH	12	12CH
5	5CH	13	13CH
6	6CH	14	14CH
7	7CH	15	15CH
8	8CH	16	16CH

設定状態

3



押す

[静止画]、[電子ズーム]ボタンを押し、割り当てたいチャンネル(1 ~ 16CH, -)を設定します。複数の端子を1つのチャンネルに割り当てることもできます。

4

必要に応じて、手順3を繰り返します。

5

設定 / ESC

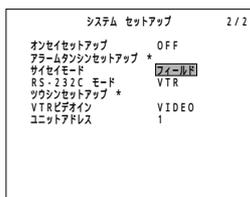


押す

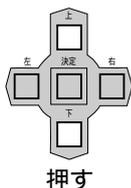
[設定/ESC]ボタンを押し、システム設定画面に戻ります。

システムの設定

再生モードの設定(サイセイモード)

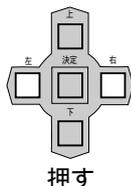


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「サイセイモード」の設定項目にあわせませす。

2



[左,右]ボタンを押し、再生モード(フィールド/FS10)を設定します。

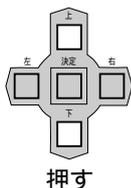
メモ

通常は「フィールド」に設定します。WJ-FS10、FS10Aで記録したテープ

RS-232C端子の設定(RS-232Cモード)

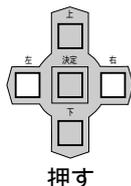


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「RS-232Cモード」の設定項目にあわせませす。

2

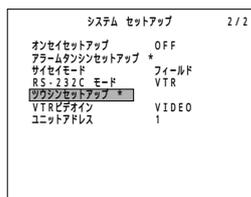


[左,右]ボタンを押し、RS-232C端子の使用方法(VTR/PC)を設定します。

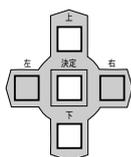
メモ

- ・リモコン出力端子(ミニジャック)を使って本機からVTRを制御する場合は、「PC」に設定してください。
- ・VTRに設定した場合は、ストレートケーブルでVTRと接続します。

通信の設定(ツウシンセットアップ)

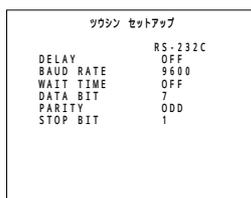


1



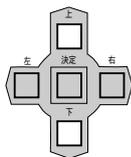
押す

[上,下]ボタンでカーソルを「ツウシンセットアップ *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。通信設定画面が表示されます。



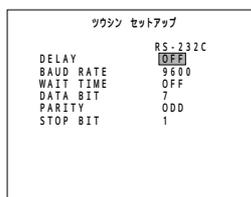
通信設定画面

2



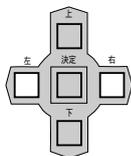
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「DELAY」の設定項目にあわせます。



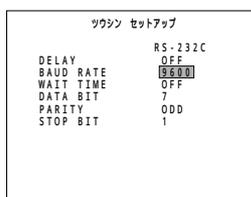
DELAYの設定状態

3



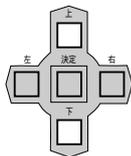
押す

[左,右]ボタンを押し、ディレイ(OFF/10/20/40/60/80/100)を設定します。



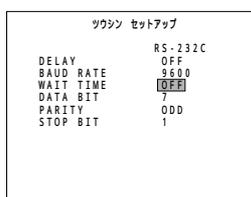
BAUD RATEの設定状態

4



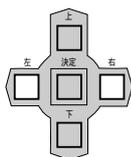
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「BAUD RATE」の設定項目にあわせます。



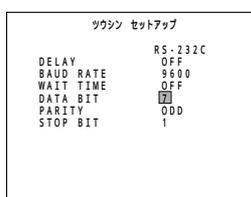
WAIT TIMEの設定状態

5



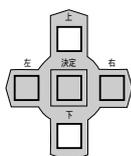
押す

[左,右]ボタンを押し、ポーレート(1200/2400/4800/9600/19200)を設定します。



DATA BITの設定状態

6



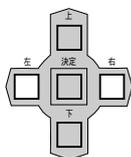
押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「WAIT TIME」の設定項目にあわせます。



DATA BITの設定状態

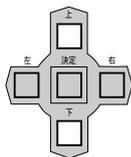
7



押す

[左,右]ボタンを押し、ウェイト時間(OFF/100/200/400/1000)を設定します。

8

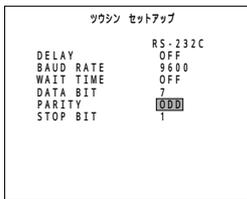


押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「DATA BIT」の設定項目にあわせます。

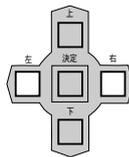
(次ページへつづく)

システムの設定



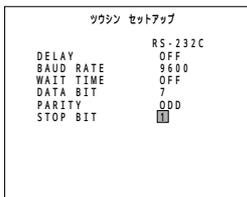
PARITYの設定状態

9



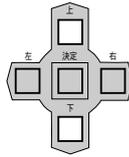
押す

[左,右]ボタンを押し、データビット長(7/8)を設定します。



STOP BITの設定状態

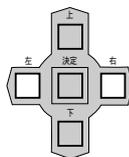
10



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「PARITY」の設定項目にあわせませす。

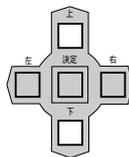
11



押す

[左,右]ボタンを押し、パリティ(ODD/EVEN/NONE)を設定します。

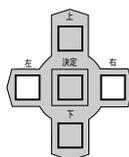
12



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「STOP BIT」の設定項目にあわせませす。

13



押す

[左,右]ボタンを押し、ストップビット(1/2)を設定します。

14

設定 / E S C



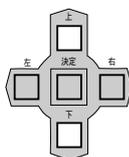
押す

[設定/ESC]ボタンを押し、システム設定画面に戻ります。

使用する再生入力端子の設定(VTRビデオイン)



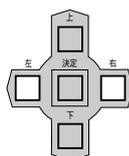
1



押す

[上,下]ボタンを押し、カーソルを「VTRビデオイン」の設定項目にあわせませす。

2



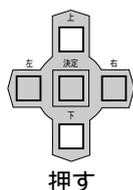
押す

[左,右]ボタンを押し、使用する再生入力端子(VIDEO/S-VIDEO)を設定します。

ユニットアドレスの設定(ユニットアドレス)

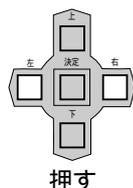


1



[上,下]ボタンを押し、カーソルを「ユニットアドレス」の設定項目にあわせませす。

2



[左,右]ボタンを押し、識別番号(1~16)を設定させす。

各項目の設定が終わったら

1

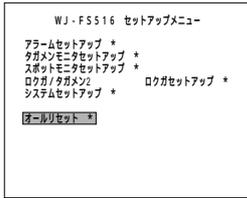


[設定/ESC]ボタンを押し、設定を完了させす。画面は、セットアップメニュー画面に戻りませす。

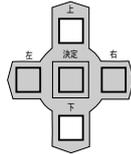
オールリセット

この操作は、本機の設定内容を工場出荷時の設定に戻すものです。

この操作を行うと設定した内容は全て消去されます。必要なとき以外は操作しないでください。

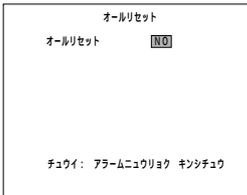


1

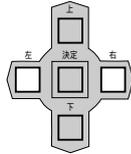


押す

[上,下]ボタンでカーソルを「オールリセット *」にあわせ、[決定]ボタンを押します。オールリセット画面が表示されます。



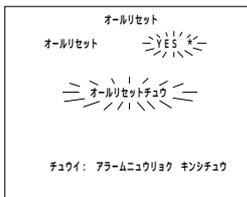
2



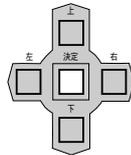
押す

[左,右]ボタンを押し、「YES *」を表示します。

オールリセット画面



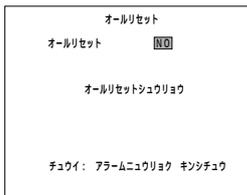
3



押す

[決定]ボタンを押します。オールリセットが実行されます。終了すると「オールリセットシュウリョウ」と表示されます。

リセット実行状態



リセット終了状態

4

設定 / E S C



押す

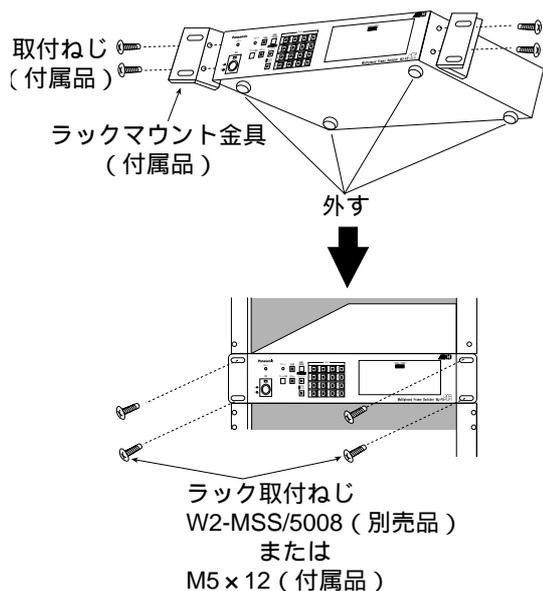
[設定/ESC]ボタンを押し、セットアップメニュー画面に戻ります。

メモ

オールリセットの画面を表示しているときは、アラーム入力が無効となります。

ラックへの取り付けかた

付属のラックマウント金具、取付ねじ(M4×10)と、別売品のラック取付ねじ(品番:W2-MSS/5008)を使い、ラックに取り付けます。



1 ドライバーを使い、ゴム足(4カ所)を外します。

2 本機の両端にラックマウント金具を取り付けます。取付ねじ(4本)で、確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじで固定します。

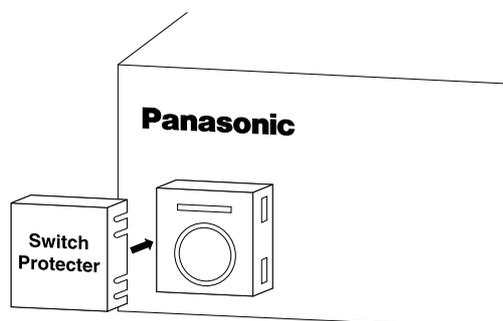
メモ

- ・ 振動が多い場所に設置するときは、本機の後部を補強アングル(現地制作)などでラックに固定してください。
- ・ 上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。やむをえず発熱量の多い機器を上下に設置するときは、1U以上の間隔をあけてください。
- ・ 付属のラック取付ねじ(M5×12)は、ラックの取付部にM5のねじがきれていない場合に使用してください。ねじがきれている所に使用すると、ねじ山がこわれる場

スイッチプロテクター(付属品)について

本機の電源スイッチ以外で電源を入/切して使用する場合は、必ず電源スイッチを「入」の状態にして、付属のスイッチプロテクターを取り付けてください。誤って電源スイッチが押され、「切」の状態になることを防止します。

電源スイッチが「切」の状態では、電源を入/切できません。



メモ

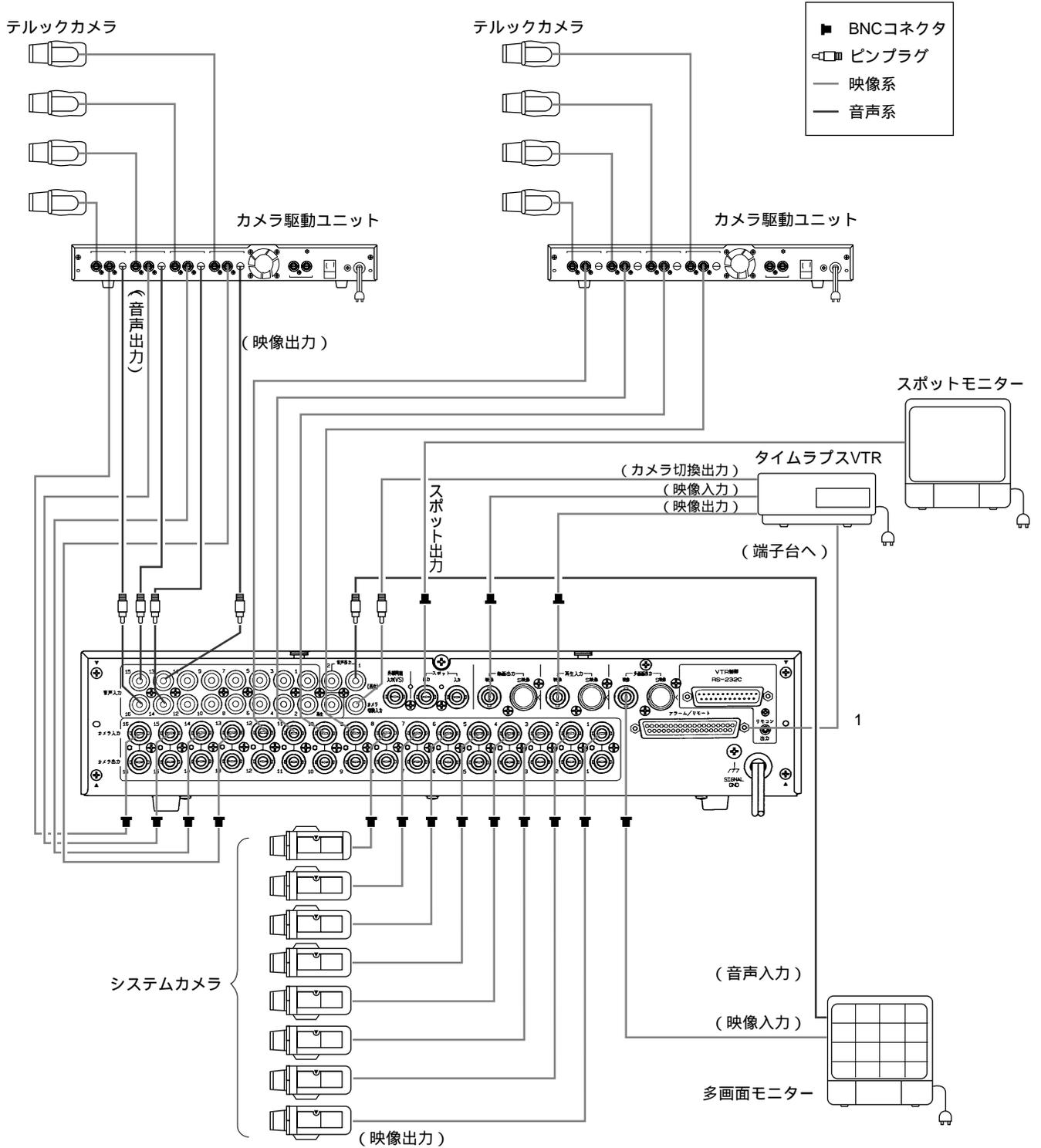
電源の入/切を本機の電源スイッチで行う使用方法のときは、スイッチプロテクターを取り付けないでください。緊急対応時などのときに、電源スイッチをすぐに押せま

接続のしかた

機器の接続は、全ての電源を切った状態で行ってください。

システム接続例

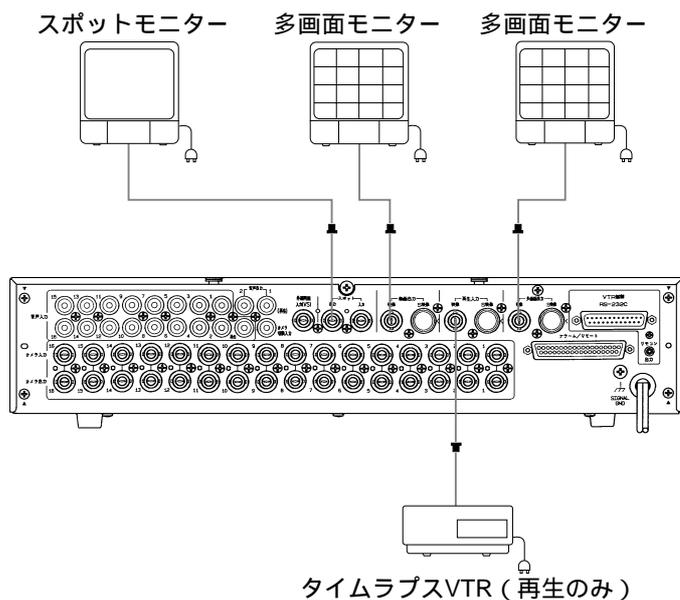
基本システム



1 アラーム/リモート制御端子とタイムラプスVTR端子台との接続は、61ページをご覧ください。

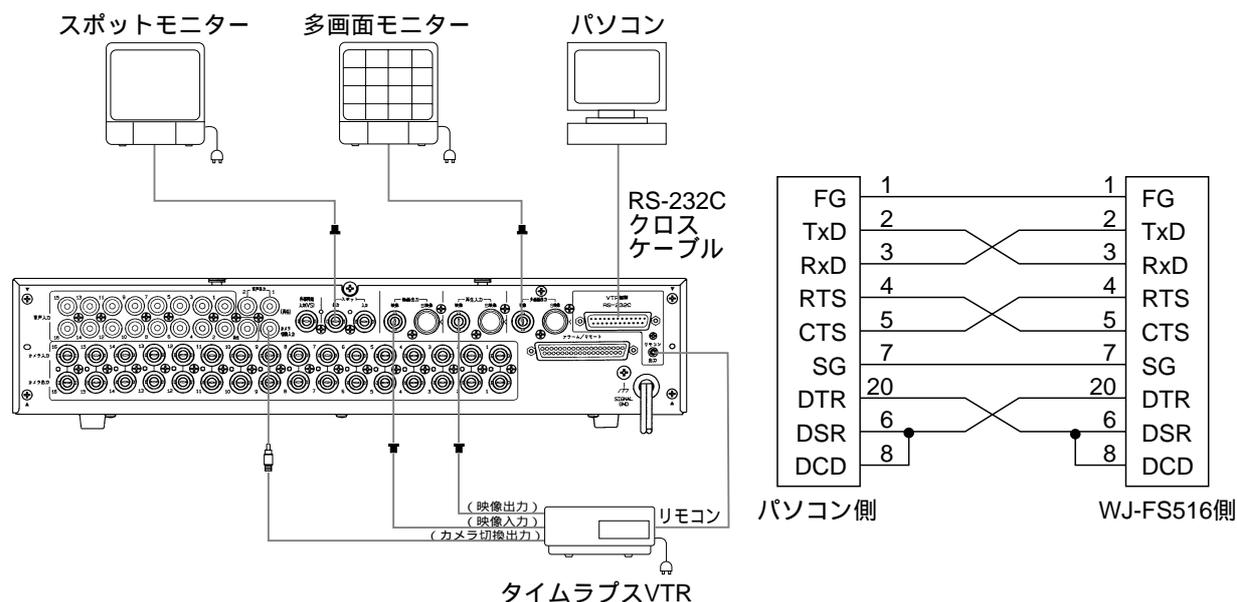
録画出力を多画面出力2とした場合

カメラの接続は58ページと同様ですので省略しています。



パソコン制御する場合

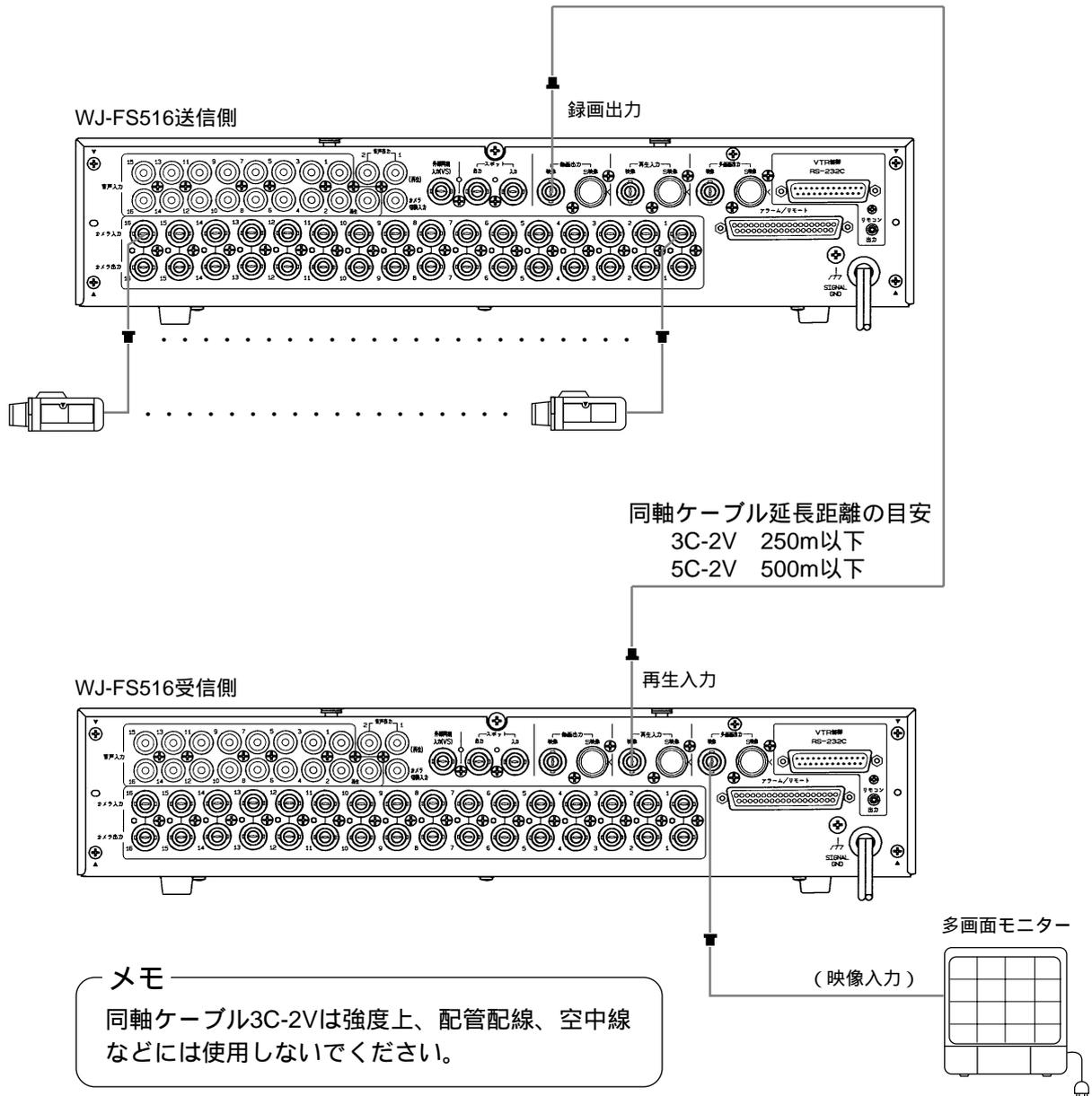
- ・本機のRS-232C端子の設定(52ページ参照)を「PC」にします。
- ・本機からのVTR制御は、リモコン出力端子(ミニジャック)からのみ可能となります。
- ・カメラの接続は58ページと同様ですので省略しています。



接続のしかた

省線化システムの接続例

本機を2台(送信側、受信側)接続することにより、送信側に接続された16台のカメラ映像を、同軸ケーブル1本で受信側に伝送することができます。(送信側の録画出力端子と受信側の再生入力端子を接続します。)



送信側の設定

録画モードの設定(38ページ参照)を「MODE 0」(通常録画)にしてください。

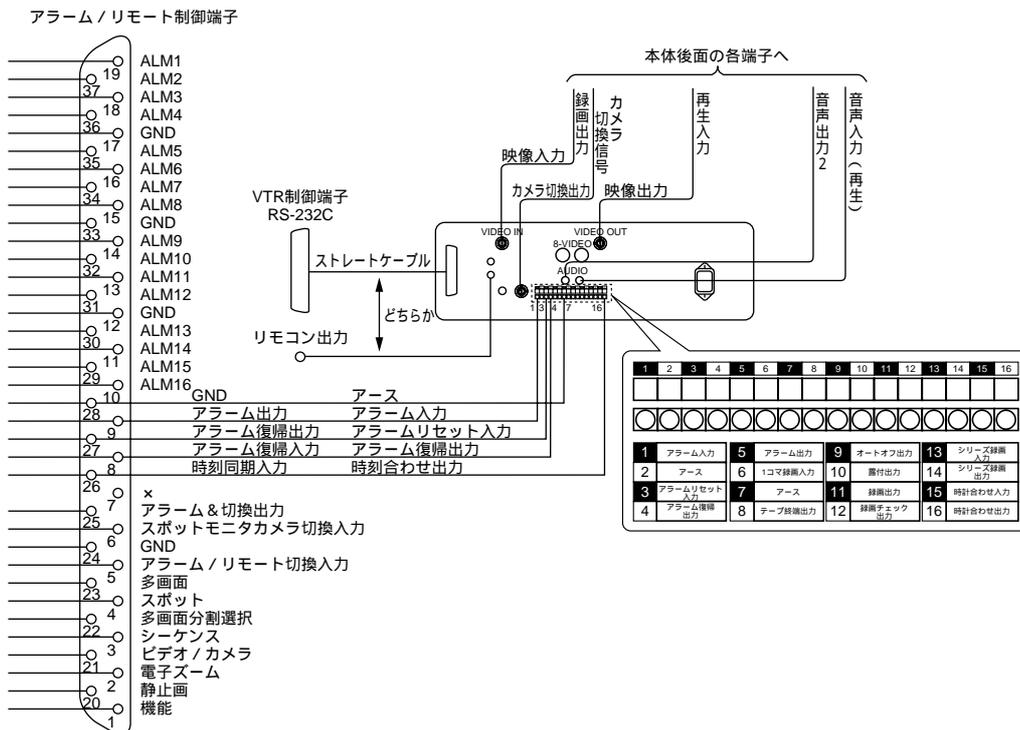
4分割画面録画(MODE9 EXT4)では正しく動作しません。

受信側の操作

送信側のカメラ映像を受信側で見る場合は、ビデオ再生画を見る場合(16、17ページ参照)と同じ操作になります。(ただし、ビデオを再生状態にする操作は必要ありません。)

よって、使用できる機能もビデオ再生画を見る場合と同じです。

タイムラプスVTRとの接続例



メモ

- ・VTR制御端子(RS-232Cまたはリモコン出力)は、接続するタイムラプスVTRにより、どちらか一方を使用します。

RS-232C : AG-6760、AG-6740、AG-6730 (別売のRS-232C I/Fアダプターが必要)
 リモコン出力: AG-6124、AG-RT600

- ・リモコン出力端子(ミニジャック)を使って本機からVTRを制御する場合は、RS-232C端子の設定(52ページ参照)を「PC」にしてください。
- ・本機のアラーム出力端子(9番ピン)やアラーム復帰出力端子(27番ピン)をタイムラプスVTRのアラーム入力端子、アラーム復帰入力端子に接続する場合、タイムラプスVTR側のアラーム録画時間設定を外部制御可能な状態にしてください。

例、①AG-6760、AG-6740、AG-6730の場合(メニュー画面4にて)

DURATION MANUAL

②AG-RT600の場合(メニュー画面2にて)

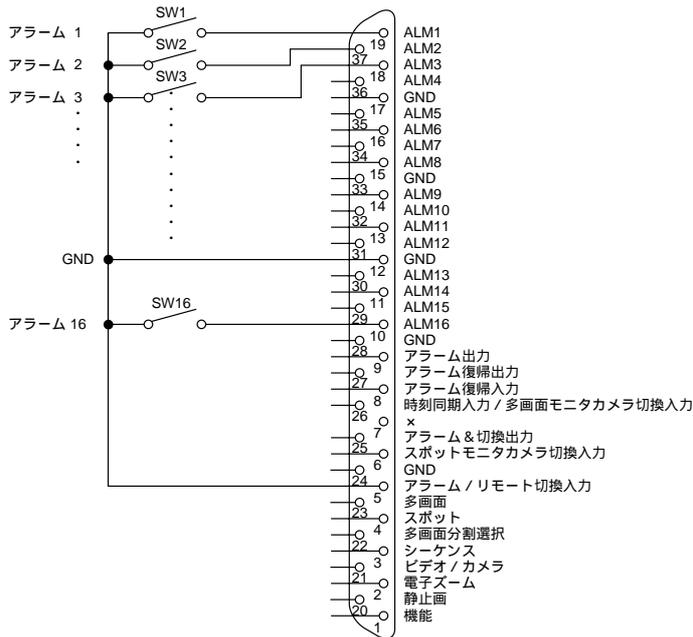
DURATION MANUAL

- ・本機のリモコン出力端子を使って制御するタイムラプスVTRは、本機と同時に電源ON/OFFするようにしてください。本機のみ電源をOFFすると、VTRが誤動作する場合があります。またリモコンケーブルだけでなく、映像信号線も必ず接続してください(GNDをとる)。GNDが共通でないと、VTRが誤動作する場合があります。
- ・リモコン出力端子から、「逆再生」および「時間モードの変更」はできません。
- ・リモコン出力端子は、当社のタイムラプスVTR用リモートコントローラ AG-A11相当の出力を備えた端子です。

接続のしかた

アラームセンサーとの接続

アラームセンサーからのアラーム入力により、アラーム連動動作ができます(20ページ参照)。アラームセンサーを接続する場合は、アラーム/リモート制御端子の5番ピンを必ずアースに接続してください。接続しない場合は、外部制御(CH選択)端子として機能します。



メモ

アラーム信号入力中に別のアラーム信号が入力された場合、2番目以降のアラームは無効です。

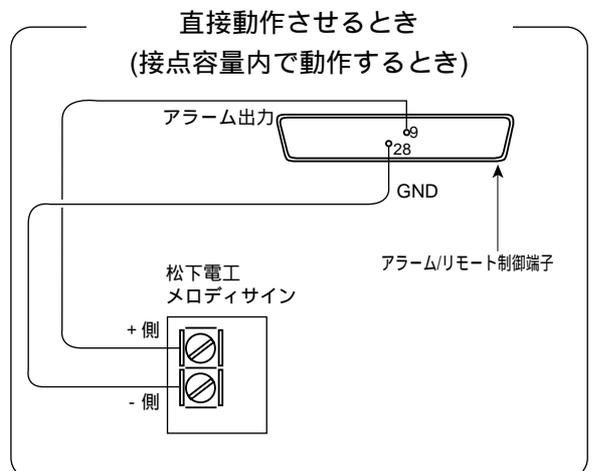
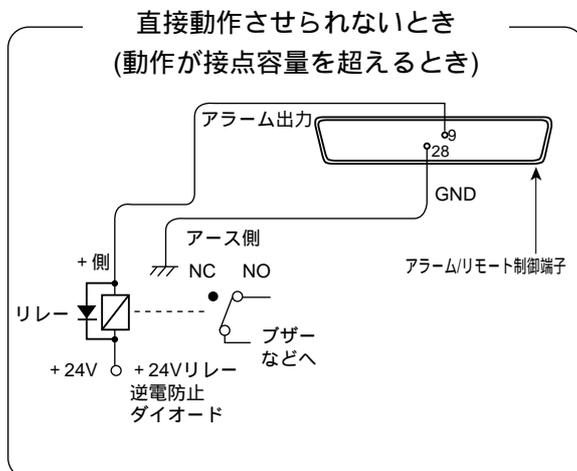
1番目のアラーム入力終了後、約100msの時間をおいて、次のアラームを入力してください。

使用できるアラームセンサーの条件

- ・動作電圧がDC12 V以下であること。(オープンコレクタ出力または無電圧メイク接点)
- ・メイク接点動作時のアラーム端子とアース端子間の電圧が、0 ~ 0.2 Vになること。
また、100 ms以上このレベルであること。

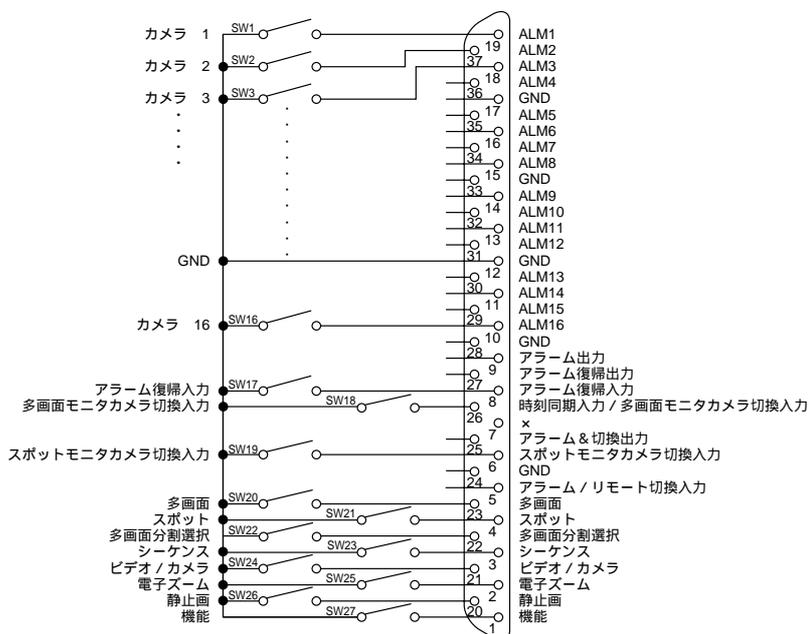
アラーム出力接続のしかた

- ・アラーム出力にも極性があります。極性を確認してください。
- ・アラーム出力の接点容量は、DC24 V 100 mA以下です。
- ・ブザーなどの起動スイッチに流れる電流が、DC24 V 100 mAを越える場合は、アラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使用し、ブザーを鳴らしてください。



外部制御のしかた

- ・[アラーム復帰]ボタン、[多画面]ボタン、[スポット]ボタン、[多画面分割選択]ボタン、[シーケンス]ボタン、[ビデオ/カメラ]ボタン、[電子ズーム]ボタン、[静止画]ボタン、[機能]ボタン、[カメラ]ボタン(1～16)を外部制御できます。
- ・前面パネル上のボタンと並行して機能します。
- ・アース端子とのメイク接点により動作します。
- ・[カメラ]ボタン(1～16)の外部制御にはアラーム入力端子(ALM1～ALM16)を使用します。
- ・7番ピンはテスト用の端子です。何も接続しないでください。



メモ

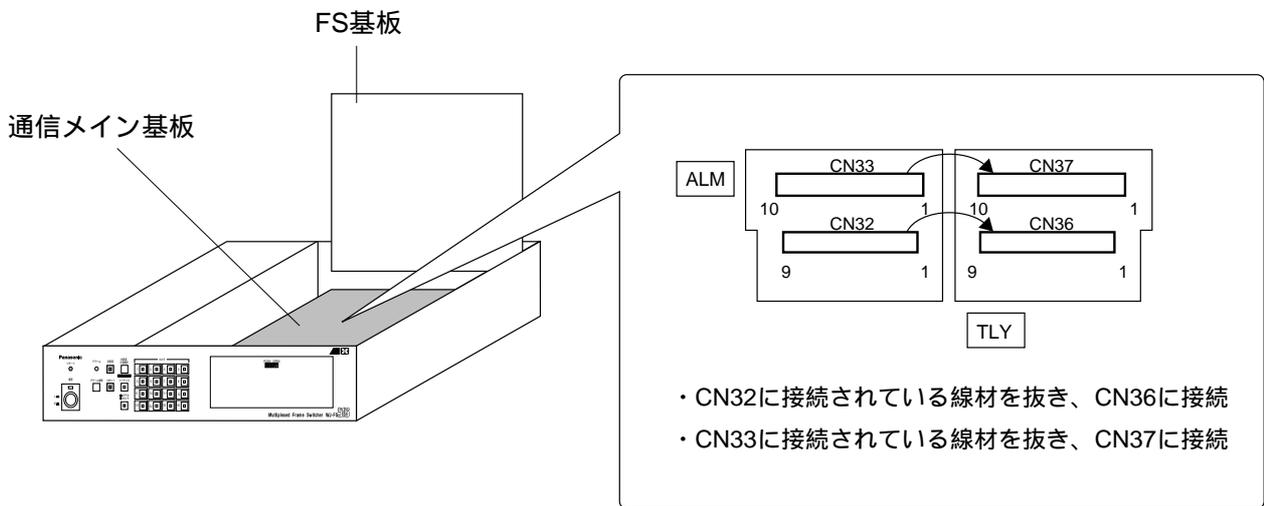
アラーム復帰入力端子(8番ピン)とスポットモニタカメラ切換入力端子(6番ピン)は、HIGHレベル+5V、LOWレベル0Vの信号を入力することもできます。この場合は、5Vから0Vへ信号レベルが切り換わったときに動作します。

接続のしかた

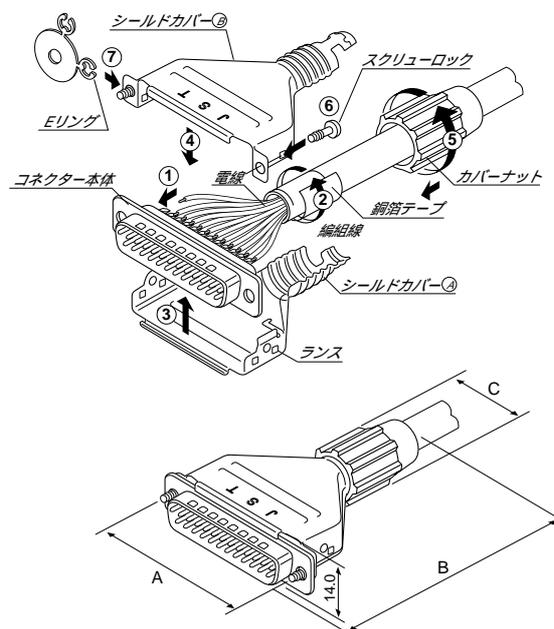
タリー出力の使いかた

- ・本体上カバーを開け、FS基板の下にある通信メイン基板上のコネクタを差し換えます。
CN32 CN36へ。CN33 CN37へ。
- ・この変更により、アラーム入力端子(ALM1～ALM16)がタリー出力端子として使用できます。
アラーム/リモート入力とタリー出力の混在使用も可能です。(下表参照)

	CH1～8	CH9～16
アラーム入力/リモート入力	CN32	CN33
タリー出力	CN36	CN37



コネクタ本体と電線をはんだ付けする。
シールド編組線を外被に沿っており返しその上に銅箔テープ（現地調達）を巻く。
コネクタ本体をシールドカバー ① に収納。
シールドカバー ② をシールドカバー ① に沿って合わせ、カバーのランスが掛かるまで押し込む。
カバーナットを最後まで締めつける。
スクリューロックを取り付ける。
Eリングをセットする。



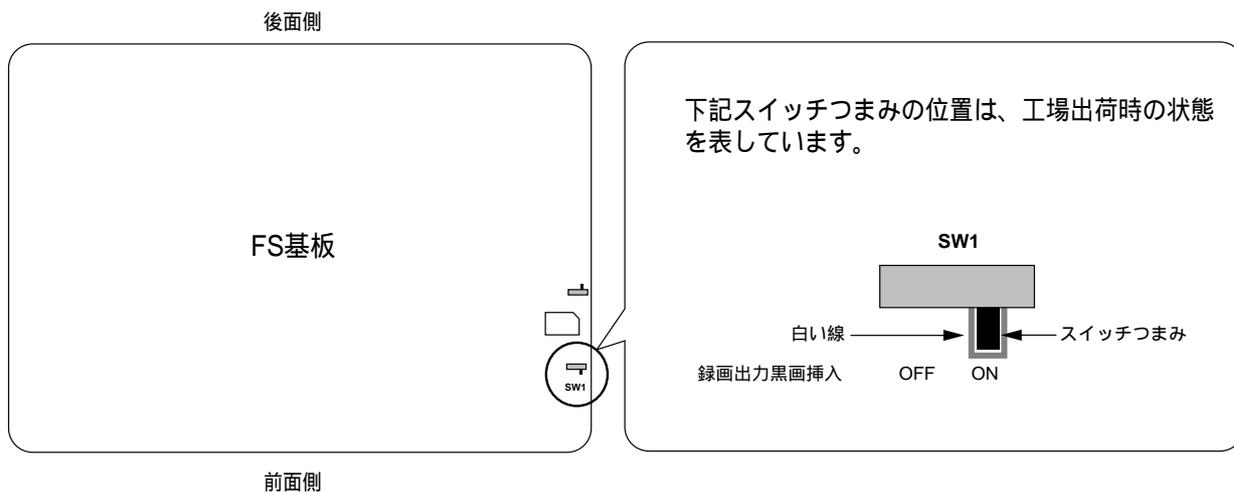
内部スイッチの設定

黒画挿入(SW1)の設定

本機では、ビデオ再生画の画質向上のため、録画出力に黒画面を挿入しています。この黒画面挿入を「OFF」にすると、より高密度で記録することができます。ただし、再生時に画面が上下に揺れることがありますので、通常は黒画面挿入を「ON」にしてご使用ください。

設定のしかたは、以下のとおりです。

- ① 本体の上カバーを開けます。
- ② 上カバーを開けると下図FS基板がありますので、この基板上的SW1の設定を切り換えます。

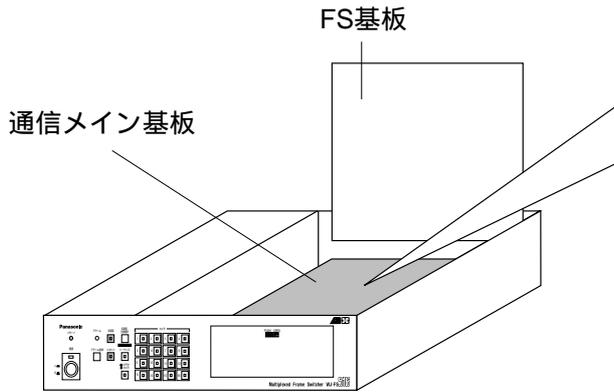


内部スイッチの設定

アラーム出力極性(SW3、SW4、SW5)の設定

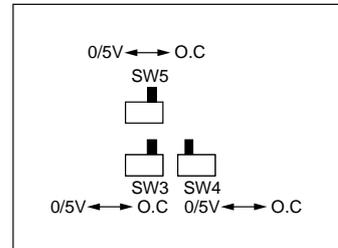
本体上カバーを開け、FS基板の下にある通信メイン基板上のSW3、SW4、SW5を切り換えることにより、アラーム出力、アラーム復帰出力、アラーム&切換出力端子の極性を変更することができます。

接続する機器の極性をお確かめの上、必要に応じて各スイッチを切り換えてください。



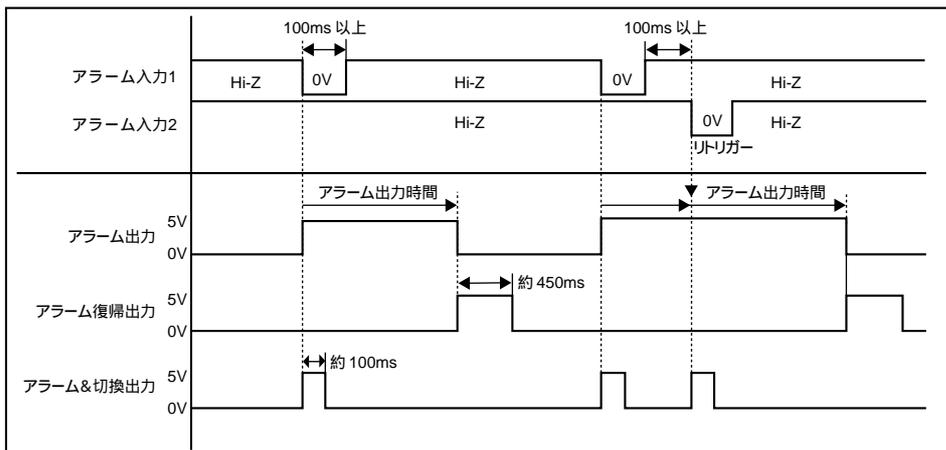
工場出荷時は、下図のようになっています。

SW3 : アラーム出力端子
SW4 : アラーム復帰出力端子
SW5 : アラーム&切換出力端子



SW	端子の状態	
	OFF	ON
「O.C」側	Hi-Z	0V
「0/5V」側	0V	5V

アラーム出力、アラーム復帰出力、アラーム切換出力のタイミングチャート (0/5V選択時)



アラーム復帰する前に次のアラームが入った場合、アラーム出力は、後から入ったアラームから設定した時間だけ出力されます。

・SW3、SW4、SW5を「O.C」側にした場合は、「0/5V」側の場合と下表のように対応します。

SW	端子の状態	
	OFF	ON
「O.C」側	Hi-Z	0V
「0/5V」側	0V	5V

故障と思われましたら

修理を依頼される前に、以下のことをご確認ください。

症状	確認していただく内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがACコンセントに確実に差し込まれていますか？
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> カメラのレンズキャップは外しましたか？ カメラや接続機器の電源は入っていますか？ ケーブルが正しく接続されていますか？ ビデオ受像機の輝度調整・コントラスト調整が正しくされていますか？
映像がぼける	<ul style="list-style-type: none"> カメラのレンズにゴミやホコリが付着していませんか？ カメラのピントは正しく調整されていますか？
ビデオ再生画面にバーノイズが出る ビデオ再生時に静止画になってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ビデオのトラッキングは正しく調整されていますか？ [ビデオ/カメラ]ボタンが「ビデオ」の状態ですべてVTRを停止させたり、録画部分が終了して未録画部分を再生していませんか？ スチル表示モードになっていませんか？([静止画]ボタンのLEDが点灯していませんか？) VTRの再生画質が悪くありませんか？
タイムラプス録画で同じチャンネルの映像または黒画しか録画できない	<ul style="list-style-type: none"> カメラ切換信号の接続コードがはずれていませんか？
停電になっても日付/時刻表示のデータがメモリできない	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源が長時間切れていませんでしたか？
[ビデオ/カメラ]ボタンを「ビデオ」にしても、再生画が出ない	<ul style="list-style-type: none"> VTRが再生状態になっていますか？ ビデオテープの記録方式が本機の記録・再生方式と違っていませんか？ 再生入力端子で設定した端子に接続されていますか？ (54ページ参照)
1画面サイズの再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> 再生しているテープは1画面で録画したテープですか？ 4画面で録画したテープは1画面で再生できません。
アラーム入力時、ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> アラームブザー出力時間の設定(29ページ参照)が「OFF」になっていませんか？
どのボタンを押しても機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ロックスイッチが「ON」になっていませんか？ パソコンからロックをかけていませんか？ パソコンからMKLコマンド(69ページ参照)を送信すると解除できます。
	<ul style="list-style-type: none"> ファンの異常です。ファンに異物が混入していませんか？ 異物の混入が見られないときは、販売店にご連絡ください。

コマンド一覧

通信プロトコル

通信の設定（53ページ参照）をパソコンの通信設定と合わせてください（ボーレート、データビット、ストップビット、パリティ）。フォーマットは以下のとおりです。

1. 送信コマンド

パソコン側から送るコマンドのフォーマットは以下のとおりです。コマンドおよびパラメータはコマンド一覧表に内容を示します。

コード	[STX] [送信コマンド] [ETX]
ASCII	(02H) () - - - () (03H)

2. 応答コマンド

パソコンからの送信コマンドに対し、本機は応答コマンドを返します。応答の形式は、内容や状態により以下の場合に分けられます。

(1) 通信が正常に行われた場合

ACKコード（06H）に続き、コマンド一覧に示す応答コマンドを返します。形式は以下のとおりです。

コード	[STX] [応答コマンド] [ETX]
ASCII	(02H) () - - - () (03H)

(2) 受信不良があった場合

NAKコード（15H）+パラメータを返します。このとき本機の受信バッファはクリアされ、次のコマンドを待ちます。パラメータeで受信不良の状態を知らせます。

コード	[NAK] [e]
ASCII	(15H)

- eの値
- 1: パリティエラー
 - 2: データオーバーエラー
 - 3: フレーミングエラー
 - 4: オーバーランエラー
 - 5: タイムアウトエラー

(3) エラー応答の場合

送信コマンドの処理が何らかの理由で行えなかった場合、ACKコード（06H）に続きエラーコード表に示すエラー応答を返します。エラー応答の形式は、以下のようにエラーの原因となったコマンド(パラメータは省略)とコロン[:]のあとに発生エラーコードが付加されています。

コード	[STX] [送信コマンド] [:] [エラーコード] [ETX]
ASCII	(02H) () - - - () (3AH) () - - - () (03H)

- エラーコード
- ER001: コマンドが無効
 - ER002: パラメータが無効
 - ER301: コマンドは正しいが、対応できない動作モードになっている
 - ER302: パラメータは正しいが、対応できない動作モードになっている

メモ

[ACK]および[NAK]コードは、パソコンからのコマンド[ETX]コードを受け取った後、20 msec以内に本機から返答されます。

コマンド一覧

送信コマンドは、3桁の英文字で構成されます。パラメータが必要なものについては、コマンドの次にコロン[:]を付与し、第2のパラメータが必要な場合もコロン[:]で区切ります。

パラメータのあるコマンドにおいてパラメータ値を省略した場合は、アンダーラインのあるパラメータ値として処理を行います。

(1) 本体動作制御

項 目	送信コマンド(ASCII)	応答コマンド(ASCII)	パラメータ(ASCII)
モニター選択	OMS:m	OMS	<u>m=0</u> スポットモニター m=1 多画面モニター1 m=2 多画面モニター2
ビデオ/カメラ選択	OVC:m	OVC	<u>m=0</u> カメラモード m=1 ビデオモード
スチル表示ON/OFF	OST:m:nn	OST	<u>m=0</u> スチルOFF m=1 スチルON <u>nn=00</u> 全映像CH指定 nn=01~16 映像CH No.
表示画面数切換	OTC:m	OTC	<u>m=0</u> 4分割 m=1 7分割 m=2 9分割 m=3 10分割 m=4 13分割 m=5 16分割 m=l 分割数(+) m=D 分割数(-)
シーケンス起動/終了	OSQ:m	OSQ	<u>m=0</u> シーケンス終了 m=1 シーケンス起動
シーケンス設定変更	OSE:m	OSE	<u>m=0</u> SEQ1 m=1 SEQ2 m=2 SEQ3
電子ズームON/OFF	OZM:m	OZM	<u>m=0</u> 電子ズームOFF m=1 電子ズームON
1画面CHスポット選択	OCS:mm	OCS	mm=00~16 映像CH No. 00=スポット入力
混在表示再生画CH選択	OVS:mm	OVS	mm=01~16 再生画CH No.
アラーム入力	OAI:m	OAI	<u>m=0</u> 1CHアラーム : m=F 16CHアラーム
アラーム復帰	OAL:m	OAL	<u>m=0</u> マニュアルリセット m=1 自動復帰と同様
アラームリコールクリア	OAR	OAR	なし

(2) モード変更

項 目	送信コマンド(ASCII)	応答コマンド(ASCII)	パラメータ(ASCII)
キーロック 1	MKL:m	MKL	<u>m=0</u> キーロックOFF m=1 キーロックON
本体セットアップ	MSU:m	MSU	<u>m=0</u> 本体セットアップ終了 m=1 本体セットアップ開始

1 キーロックONのコマンドを送信した場合、パソコンからの制御以外はできなくなります。

コマンド一覧

(3)カーソル

項目	送信コマンド(ASCII)	応答コマンド(ASCII)	パラメータ(ASCII)
カーソル移動 設定値変更 ズーム位置移動	DCR:mm	DCR	mm = UU 上方向への1ステップ移動 mm = DD 下方向への1ステップ移動 mm = RR 右方向への1ステップ移動 mm = LL 左方向への1ステップ移動 mm = BB 下層への移動 mm = FF ページ、文字マップの切換 mm = IC 設定項目の変更(+) mm = DC 設定項目の変更(-) mm = ES 上層への移動 項目決定(一部のみ) mm = UR 右上方向への1ステップ移動 mm = UL 左上方向への1ステップ移動 mm = DR 右下方向への1ステップ移動 mm = DL 左下方向への1ステップ移動

2

- 2 本体セットアップ画面上で有効となるパラメータは、
 mm = UU、DD、RR、LL、BB、FF、IC、DC、ES
 電子ズーム中のズーム位置移動で有効となるパラメータは、
 mm = UU、DD、RR、LL、UR、UL、DR、DL

(4)状態問い合わせ

項目	送信コマンド(ASCII)	応答コマンド(ASCII)	パラメータ(ASCII)
状態問い合わせ	QOP	下表(19種類)	なし

[応答例]

No.	応答コマンド(ASCII)	本体情報
1	@mPLSNcc	カメラ1画面スポット
2	@mPLSZcc	カメラ1画面スポット+電子ズーム
3	@mPLSScc	カメラ1画面スポット+スチル
4	@mPLSXcc	カメラ1画面スポット+電子ズーム+スチル
5	@mPLSMLa	カメラ多画面スポット(+スチル)
6	@mPLQNcc	1画面シーケンス(カメラ映像)
7	@mPLQMLa	多画面シーケンス(カメラ映像)
8	@mPLQZcc	1画面シーケンス+電子ズーム(カメラ映像)
9	@mPVSNcc	ビデオ1画面スポット
10	@mPVSZcc	ビデオ1画面スポット+電子ズーム
11	@mPVSScc	ビデオ1画面スポット+スチル
12	@mPVSXcc	ビデオ1画面スポット+電子ズーム+スチル
13	@mPVSMLa	ビデオ多画面スポット(+スチル)
14	@mPVQNcc	1画面シーケンス(ビデオ再生画)
15	@mPVQMLa	多画面シーケンス(ビデオ再生画)
16	@mPVQZcc	1画面シーケンス+電子ズーム(ビデオ再生画)
17	@mPRSMLa	ライブ&VTR混在表示(+スチル)
18	@mPE	本体セットアップモード
19	@mPX	VTR再生画スルー状態

- m = 0, 1, 2 モニタ番号(0:スポットモニター、1:多画面モニター、2:多画面モニター2)
 P = N, A N:通常運用状態 A:アラーム状態
 cc = 01 ~ 16 カメラCH番号(m = 0のときのみ、00(スポット入力)もあり)
 a = 0 ~ 6 分割画面数に対応
 0:4分割 1:7分割 2:9分割 3:10分割 4:13分割 5:16分割 6:1画面

仕様

基本仕様

電源	AC100 V 50 / 60 Hz
消費電力	約36 W
使用温度範囲	- 10 ~ + 50
寸法	420(幅) × 88(高さ) × 350(奥行き) mm
質量	約6.5 kg

入出力

カメラ入力	16回路 2:1インターレス VBS 1.0 V[p-p] / 75 自動終端 (BNCコネクタ)
再生入力	1回路 VBS 1.0 V[p-p] / 75 (BNCコネクタ)
再生入力 (S映像)	1回路 Y=1.0 V[p-p] / 75 、C=0.286 V[p-p] (バースト) / 75 (Sコネクタ)
外部同期入力	1回路 VS 1.0 V[p-p] / 75 (BNCコネクタ)
音声入力	17回路 - 10 dB / 47 k (RCAピンジャック)
カメラ切換信号入力	1回路 (RCAピンジャック)
アラーム/リモート入力**	16回路 (37ピンコネクタ)*
アラーム復帰入力	1回路 (37ピンコネクタ)*
時刻同期入力	1回路 (37ピンコネクタ)*
リモート入力	10回路 (37ピンコネクタ)*
カメラ出力	16回路 カメラ入力のループスルー出力 (BNCコネクタ)
多画面出力	1回路 VBS 1.0 V[p-p] / 75 (BNCコネクタ)
多画面出力 (S映像)	1回路 Y=1.0 V[p-p] / 75 、C=0.286 V[p-p] (バースト) / 75 (Sコネクタ)
スポット出力	1回路 VBS 1.0 V[p-p] / 75 (BNCコネクタ)
録画出力	1回路 VBS 1.0 V[p-p] / 75 (BNCコネクタ)
録画出力 (S映像)	1回路 Y=1.0 V[p-p] / 75 、C=0.286 V[p-p] (バースト) / 75 (Sコネクタ)
音声出力	2回路 - 10 dB / 600 (RCAピンジャック)
タリー出力**	16回路 (37ピンコネクタ)
アラーム出力	1回路 VTR用パルス / オープンコレクタ切換 (37ピンコネクタ)***
アラーム復帰出力	1回路 VTR用パルス / オープンコレクタ切換 (37ピンコネクタ)***
アラーム&切換出力	1回路 VTR用パルス / オープンコレクタ切換 (37ピンコネクタ)***
VTRリモコン出力(RS-232C)	1回路 (D-SUB25ピン)
VTRリモコン出力(ワイヤード)	1回路 (ミニジャック 2.5)
スポット入力	1回路 VBS 1.0V[p-p] / 75 (PC制御時のみ選択可) (BNCコネクタ)

* アース端子とのメイク接点により作動します。V_{on} 0.2 Vが必要条件です。

** 接続工事によりアラーム/リモート入力またはタリー出力になります。

*** 接点容量DC24V 100mA以下

仕上げ

パネル	A Vアイボリー焼付塗装 (マンセル7.9 Y6.8 / 0.8 近似色)
カバー	A Vアイボリー塩ビ鋼板 (マンセル7.9 Y6.8 / 0.8 近似色)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、放熱ファンは消耗品ですから、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、フレームスイッチャーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	WJ-FS516
販 売 店 名				☎ ()	-

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0797-6020

V8QA4658GN